

令和3年度 事業報告

自 令和 3年 4月 1日

至 令和 4年 3月 31日

社会福祉法人 宮古島市社会福祉協議会

令和3年度事業報告

事業の実施におけるきめ細かな協議の成果として、事業運営資金の安定的確保を行うことが可能となり、組織運営、経営基盤の強化が図られ「地域福祉の推進」を実践することができました。

新型コロナウイルス感染拡大防止を図るため一般会費の募集等の一般財源の確保活動を十分に行うことが出来ませんでした。今後、広報活動の在り方、活動への理解等課題を改善し、重点的に取組みを強化いたします。

今年度特に各方面からの協力が得られた活動としてフードバンク事業（フードバンクんまんま）があげられます。生活困窮世帯への支援を目的とする紺事業は、宮古島市内はもとより島外からの支援も多くありました。

ワンストップの体制においては新型コロナウイルス関連生活福祉資金の申請等の増大により受付を担当部署以外でも実施した成果として業務理解が進み、それに伴い職員の自己の業務に対する向上意欲も増し課題対応の迅速化が図られています。

新型コロナウイルス感染拡大防止を図るため活動の中止、縮小等が多く当初計画した活動を実施することが出来ませんでした。一部の活動では、感染拡大防止を図りながら目的が達成できる方法での実施も行っていました。

重点目標達成状況

AA;目標を上回る A;目標に近い B;目標に満たない C;目標から遠ざかっている

1、組織運営、経営基盤体制の強化

新型コロナウイルス感染症の影響により事業によって一時休止期間もあったが、介護サービスについては感染対策を講じ事業継続を行い、又、相談窓口も分散勤務などにより体制を維持できている。休止による収入減もあるものの安定した経営は維持できた。	A
--	---

2、職員の資質向上

新任職員研修の内容を強化して実施。新型コロナウイルス感染症拡大の影響により実施できなかった研修はあるが、ZOOMを活用したウェブ研修等各所属部署において実情に合わせた研修を行うことが出来ている。	A
---	---

3、事業の効率化

令和3年度は訪問介護事業の整理統合により効率化が図られている。地域福祉系の配置整理により情報供給や各事業の連携が図られている。又、居宅介護支援事業が訪問介護事業と同じ施設へ移転したことで在宅要介護者に対する支援の連携がより綿密になった。	A
--	---

4、活動財源の安定確保

新型コロナウイルス緊急事態宣言等の影響により会費や赤い羽根募金活動の縮小が余儀なくされたため、収入減となっている。	B
---	---

5、部門間協働の強化

地域包括支援センターの地域福祉課への組織整備体制の改正により地域福祉相談体制の連携が図られた。又、代表電話番号の転送機能を活用し電話相談のワンストップ化が進んだことで市民及び関係機関の利便性が向上した。	A
---	---

6、活動拠点の安定確保

旧中央公民館から旧保健センターへ平良老人福祉センターが移転し、地域包括支援センターが新たに袖山ガーデンに配置となり拠点活動の確保はできている。	A
---	---

7、地域福祉活動計画の推進

新たに地域福祉計画と地域福祉活動推進計画が融合した第3次地域福祉推進計画が策定され今年度からの開始となっている。新型コロナウイルス感染症の影響もあったものの新たな計画に基づいて事業が実施された。	A
---	---

具 体 的 事 業

評価 (AA=計画以上 A=計画通り B=一部実施 C=未実施 D=終了)

I、一人ひとりが福祉の担い手となる人づくり

1. 福祉意識の啓発と機会の充実			
共同募金、会費等自主財源充当事業			
事業名	内 容		
映画上映会	目 的	福祉に関する映画の上映会をすることにより地域福祉活動に対する意識の啓発を行う。	
	内 容	広く市民や関係団体へ参加を呼びかけ福祉に関する映画の上映会を実施する。	
	実 績	未実施	
	効果課題	新型コロナウイルス感染拡大により実施を見送った。	評価 C
宮古島市障がい者スポーツ交流大会	目 的	障がい者の社会参加の促進、及びあらゆる世代と身体の不自由な方そうでない方の相互理解を深める。	
	内 容	障がい者団体・学生ボランティア・意思疎通団体で、ボッチャ大会の実施する。	
	実 績	未実施	
	効果課題	新型コロナウイルス感染拡大により実施を見送った。	評価 C
新入学児童学用品配布事業	目 的	児童福祉に関する社会的関心を喚起するとともに、宮古島市の次代を担う子供達の健やかな成長を地域で支え、また地域、民児協、学校、社協との繋がり持ちながら児童福祉の向上を図る。	
	内 容	宮古島市内の新入学児童（小学校入学）へ赤い羽根共同募金配分金を財源に学用品を配布する。	
	実 績	市内15校 597人	
	効果課題	<ul style="list-style-type: none"> ・新入児童へ学習意欲の向上が期待できる。 ・学校、民生委員児童委員、社協との連携が期待できるとともに、赤い羽根共同募金の使途及び地域の相談支援体制の周知が期待できる。 	評価 A
受託事業			
事業名	内 容		
宮古島市長寿大学開催事業（宮古島市より受託）	目 的	地域の高齢者が家に閉じこもらず、生きがいを高めるため、また、仲間づくりの輪を広げるためにレクリエーション活動や各種教養講座等を学習することにより充実した日常生活を創造し、健康づくりに寄与する。	
	内 容	開講式（5月）、閉講式（3月） 解説講座：書道、舞踊、大正琴、三味線等	
	実 績	歌と発声の新講座が開校できたこと	
	効果課題	講座としてではなく、自主開催として講座をしていた場所もあり、地域サロンのような役割になった。	評価 A

2. 担い手となる人材の育成・確保

共同募金、会費等自主財源充当事業

事業名	内 容		
ボランティアセンター運営事業	目 的	宮古島市内の福祉ボランティアを必要とする方とボランティアをやりたい個人・団体をスムーズ及び迅速に繋げるため設置。	
	内容	事前に研修会を開催、ボランティア活動に興味はあるが、なかなか踏み出せない団体への斡旋。	
	実績	実績資料 (2)	
	効果課題	保険加入や助成金交付によって団体の活動促進に繋がった。 センターの周知や、ニーズ調査及びマッチング不足。	評価 B
サマーボランティア研修	目 的	市内の中・高校生を対象にボランティア活動始めるにあたっての心構え、障がい者や高齢者へのボランティア活動を行う上での基礎的な知識などの研修を行うとともに障がい者スポーツ体験、一人暮らし高齢者宅清掃ボランティアなどを通し実践的な活動を体験する。	
	内容	講話と施設体験を行う。	
	実績	未実施	
	効果課題	新型コロナウイルス感染拡大により実施を見送った。	評価 C
ハンディキャップ体験学習	目 的	高齢者、障がい者への基礎的な介助方法や接し方などの理解を深める。	
	内容	4月に市内各小中学校へ案内文書を送付し、希望する学校で実施 市内、小中学校を対象に高齢者体験セットを用いた高齢者体験、視覚・聴覚障がい、車椅子体験、高齢者、障がい者への基礎的な介助方法の実習や福祉講話を行う。	
	実績	未実施ですが、学校へ体験セットの貸出及び体験資料提供を久松中学校・狩俣中学校へ行った。	
	効果課題	疑似体験をすることでハンディを持つ当事者の思いや不自由さを知ることができ、当事者と向き合う際に丁寧な対応ができると期待できる。コロナ禍における三密回避の対策をとりながら体験学習の機会を増やすことが課題といえる。	評価 B
一人暮らし高齢者宅清掃	目 的	地域に住む一人暮らし高齢者との交流と生活環境を整えることにより在宅生活を続けられるようにする。	
	内容	民生委員の紹介で地域に住む一人暮らし高齢者たくへサマーボランティア参加の学生が訪問し、清掃活動を行いながら交流を深める。 サマーボランティア研修と連動し、参加学生に実施してもらう。	
	実績	未実施	
	効果課題	新型コロナウイルス感染拡大により実施を見送った。	評価 C

事業名	内 容		
宮古地区障がい者スポーツ大会のボランティア募集	目 的	地域に住む一人暮らし高齢者との交流と生活環境を整えることにより在宅生活を続けられるようにする。	
	内 容	民生委員の紹介で地域に住む一人暮らし高齢者たくへサマーボランティア参加の学生が訪問し、清掃活動を行いながら交流を深める。サマーボランティア研修と連動し、参加学生に実施してもらう。	
	実績	未実施	
	効果課題	新型コロナウイルス感染拡大により開催が中止となり、実施を見送った。	評価 C
ボランティア団体への助成	目 的	学校ボランティア・ボランティア団体へ助成を行い、ボランティア活動の充実強化を図る。	
	内 容	令和3年4月に各学校、登録しているボランティア団体へ郵送で案内し、希望する団体へ内容を審査し助成金交付。	
	実績	ボランティア団体（20,000円×12団体）へ240,000円を助成。	
	効果課題	令和3年度はコロナ蔓延防止の影響で申請が減少。 ※ボランティア団体は市内に36団体あるが、今年度は12団体の活動費に助成する事ができた。	評価 B

II、地域共生社会の実現に向けた仕組みづくり

1. 地域で支え合う仕組みづくり

共同募金、会費等自主財源充当事業

事業名	内 容		
ふれあいいいききサロンの推進	目 的	高齢者の交流の場への助成により高齢者の外出の機会を増やし引きこもりを減らすことにより在宅生活の充実を図る。	
	内 容	地域のボランティアを中心とした高齢者の交流の場となるサロンへ助成を行う。	
	実績	実績資料（3）	
	効果課題	目的の効果は十分にあるが、前年度に比べサロン数が減少しておりコロナ感染症の影響がみられる。	評価 A
サロン代表者会議の開催	目 的	ふれあいいいききサロン代表者対象の勉強会実施	
	実績	開催なし	
	効果課題	開催予定をしたが新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から開催を中止とした。	評価 C
防災訓練・災害時ボランティアセンター開設訓練	目 的	災害発生時の災害時ボランティアセンター開設を迅速に行うため、職員の防災意識向上と危機管理意識向上のため訓練を行う。	
	内 容	大規模災害発生を想定し、災害発生から災害時ボランティアセンター開設までを職員を対象に訓練を行う。	
	実績	未実施	
	効果課題	新型コロナウイルス感染拡大により実施を見送った。	評価 C

事業名	内 容		
各センター防災訓練	目 的	火災発生時利用者、職員の迅速な避難と被害を最小限にとどめるため避難誘導等の訓練を行う。	
	実施時期	防火管理者を中心に訓練計画を作成、消防本部と連携し119番通報、初期消火、避難誘導、避難後の人員確認等を訓練を行う。	
	実績	通所介護事業所いらぶ、小規模多機能型居宅介護事業所たかやま、小規模多機能型居宅介護事業所きやぎで実施。	
	効果課題	各施設に防火管理責任者講習受講者を1名以上配置し、各施設で年1回程度防災訓練を実施できる体制を整える必要がある。	評価 B
防災関連団体連絡会	目 的	大規模災害発生時に迅速な対応を円滑に行うため、定期的に関係機関で協議を行う。	
	実施時期	宮古島市役所防災危機管理課、福祉政策課との連絡会。	
	実績	未実施	
	効果課題	新型コロナウイルス感染拡大により実施を見送った。	評価 C
宮古島市地域福祉計画推進事業 (宮古島市)	目 的	地域福祉活動のネットワーク化の推進を図ることによって、地域で福祉的支援等を必要とする市民（要援護者）への支援を行うとともに要支援者の地域での自立生活支援のための基盤づくりを行い、地域福祉の向上を図る	
	内容	<p>地域福祉活動のネットワーク化の推進を図ることによって、地域で福祉的支援等を必要とする市民（要援護者）への支援を行うとともに要支援者の地域での自立生活支援のための基盤づくりを行い、地域福祉の向上を図る。</p> <p>中福祉圏域（民児協区）単位にコミュニティソーシャルワーカー（CSW）を配置</p> <p>①地域づくり支援事業 ②各地域ニーズに沿った支援 ③当事者主体活動支援 ④宮古島在住外国人活動支援 ⑤及びケース検討会開催や各関係機関・団体等との連絡会等参加。 ⑥地域での支え合いの体制づくり ⑦積極的な研修参加によるCSWの資質向上 ⑧ふれあい総合相談支援センター事業の実施</p>	
	実績	<p>※④⑤⑥⑧は実績資料（4） ※④⑤⑥⑧は実績資料（4） ①、②、③も実績資料参照。 ①⇒小地域ネットワーク（地域づくり支援事業） お手紙交換プロジェクト ②⇒小地域ネットワーク（地域ニーズに沿った支援） お手紙交換プロジェクト ③⇒自治会サポート助成事業と連動 当事者主体活動支援 ④宮古島在住外国人活動支援 ⑤及びケース検討会開催や各関係機関・団体等との連絡会等参加 ⑥地域での支え合いの体制づくり ⑦積極的な研修参加によるCSWの資質向上 ⑧ふれあい総合相談支援センター事業の実施</p>	
	効果課題	学校との提携、協働により世代間交流が図れ、連絡会を通して行政等の関係機関との連携を図る事ができた。コロナ禍でも小地域ネットワーク、地域福祉懇談会は実施できたが、大人数での話し合いが難しい状況である。	評価 A

2. 地域活動の活性化支援

共同募金、会費等自主財源充当事業

事業名	内 容		
地域見守り声掛け事業（仮称）	目 的	民生委員児童委員の『友愛訪問』の一環として、地域の世帯を訪問し、民児協、社協との連携により問題・課題の早期発見や早期解決を図る。	
	内 容	宮古島市民生委員児童委員協議会との共同事業 地域の民生委員の『友愛訪問』の一環として、見守りが必要と思われる世帯を訪問し、民児協、社協との連携により家裁の早期発見や解決に向けた取り組みを行う。	
	実 績	平良第二民生委員児童委員との協力でゴキブリ団子（ホウ酸団子）を配布しながら「友愛訪問」を実施。※令和4年3月に実施。	
	効果課題	令和3年6月に実施予定でしたが、コロナ蔓延防止の為、令和4年3月に実施。	評価 B
事業名	内 容		
民生委員児童委員活動の支援協力	目 的	民生委員児童委員と社協は常に「車の両輪」であるため、民生委員児童委員活動の重要性を十分に認識、理解し、積極的に支援協力を行うことにより地域の福祉向上に繋げる。	
	内 容	支援協力事項 (1) 定例会への協力 (2) 友愛訪問の支援 (3) 福祉カルテの整備協力 (4) 各地区間の交流と研修会の開催 (5) 民児協活動に関する連絡調整 (6) 民児協活動への支援 (7) 民児協事務の協力（事務担当者の配置）等	
	実 績	市民児協・役員会3回・総会の実施 表彰申請・互助事業申請等を行った。	
	効果課題	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、定例会の開催自粛が多かった。県福祉大会も式典中止になるなど新型コロナウイルス感染拡大の影響を大きく受け多くの活動が制限された。	評価 B
福祉団体等助成事業	目 的	活動資金としての助成を行うことにより活動を活発にし地域力の向上と住みよい地域づくりが実現できるようにする。	
	内 容	宮古島市老人クラブ連合会、宮古島市身体障害者福祉協会、宮古地区手をつなぐ育成会、宮古地区身体障害者連合会、宮古島市母子寡婦福祉協会、宮古島市内の申請自治会（自治会サポート事業）へ助成を行い各団体の活動強化を図る 令和3年4月に各当事者団体、自治会へ郵送で案内し、希望する団体へ内容を審査し助成金を交付。	
	実 績	※自治会サポート事業実績は実績資料（5） 自治会サポート（宮古地区内全17地区にて利用実績あり） 当事者団体（20,000円×11団体）に220,000円を助成。	
	効果課題	案内が10月と遅れたが、17自治会が活用し、またCSW事業とのつながりで、新たな小地域ネットワークづくりに役立った。	評価 A
ふれあいおはなしフェスティバル	目 的	宮古島市内で活動する、読み聞かせの会等の団体が一堂に会し日頃の活動内容を発表し相互の連携や情報の交換を行いことにより、今後の活動へ生かす。	
	内 容	コロナの影響により、代替え事業として、読み聞かせ助成金を実施。	
	実 績	市内小学校15校へ助成金交付。	
	効果課題	市内16校の小学校があるが、15校が申請を行い各小学校の児童の読み聞かせに役立つ助成金となった。	評価 B

事業名	内 容		
宮古地区障がい者スポーツ大会への係員派遣	目 的	宮古地区障がい者スポーツ大会のスムーズな開催運営。	
	内 容	大会役員として職員を派遣する。 宮古地区障がい者スポーツ大会実行委員会との共同事業。	
	実績	未実施	
	効果課題	新型コロナウイルス感染拡大により大会が中止となったため。	評価 C
事業名	内 容		
宮古地区知的障害者スポーツ大会への係員派遣	目 的	係員派遣を行うことでスポーツ大会の円滑な運営に寄与するとともに、宮古地区の障害者団体と連携を強化する。	
	内 容	大会役員として職員を派遣する。 宮古地区手をつなぐ育成会との共同事業。	
	実績	未実施	
	効果課題	新型コロナウイルス感染拡大により大会が中止となったため。	評価 C
沖縄県身体障害者スポーツ大会への介助員派遣	目 的	介助員を派遣することで、スポーツ大会へ障害者が参加しやすい環境を作ることに寄与し、障害者の社会参加を促進する。	
	内 容	沖縄県総合運動公園で開催される沖縄県身体障害者スポーツ大会選手の介助員派遣。 宮古身体障害者連合会との共同事業。	
	実績	未実施	
	効果課題	新型コロナウイルス感染拡大により大会が中止となったため。	評価 C
宮古地区障がい者フェスティバル	目 的	多くの障がい者とボランティアの交流の場としてのフェスティバルが滞りなく開催できるよう支援する。	
	内 容	宮古地区社協連絡協議会が開催する宮古地区障がい者フェスティバルへの事業費負担、大会運営及び係員派遣。 宮古地区社協連絡協議会との共同事業。	
	実績	未実施	
	効果課題	新型コロナウイルス感染拡大によりフェスティバルが中止となったため。	評価 C

受託事業			
事業名	内 容		
介護予防普及啓発事業（生きいき教室）	目 的	生きがいと社会参加を促進すると共に、家に閉じこもりがちな一人暮らしの高齢者等に対して、社会的孤立感の解消及び自立生活の助長を図る。	
	内 容	概ね70歳以上の元気な高齢者対象 ①高齢者介護予防の取り組み ②ピクニック等の実施	
	実 績	※実績資料（6）	
	効果課題	新型コロナウイルス感染拡大の影響のため、宮古島市高齢者支援課から休止要請があり令和3年5月～6月、令和4年1月～2月の間休止を余儀なくされ、休止していた期間に利用者が要支援や要介護となり参加者の減少がみられた。 開催していない地区があるため、宮古島市高齢者支援課と連携し、宮古島市全地区で開催できるよう努力する。 老人クラブ連合会と連携し、参加者を増やすことで介護保険のサービスを利用する方を減少させていくよう務める。 会場だけのサービス、ピクニックだけでなく買い物ツアーなど新たなサービスを検討していく。	評価
			B

3. 情報提供体制・相談支援体制の強化

共同募金、会費等自主財源充当事業			
事業名	内 容		
社協だよりの発刊	目 的	市民、関係団体、会員等へ活動・事業実施内容等の報告を行い活動への理解と協力が得られるようにする。	
	内 容	宮古島市社会福祉協議会の様々な事業等を掲載し 宮古島市内全戸、（広報みやこじまし配布世帯）、特別会員へ配布。	
	実 績	事業課で毎回1ページ使用し事業課の広報活動、非常勤募集を行った。広報委員会を設置して多くの意見を反映させる体制を整備した。	
	効果課題	非常勤募集を行った際に、広報誌を見たとのことで応募が3件あった。 今後は通常サービスの様子、職員募集、サービス利用者の募集などを積極的に掲載する。 広報委員会の設置により様々な意見を取り入れて新たな広報活動の展開につなげる。	評価
			B
ホームページの活用	目 的	市民、関係団体、会員等へ活動・事業実施内容等の報告を行い活動への理解と協力が得られるようにする。	
	内 容	事業計画、資金収支予算、事業報告、決算報告、定款、各種規程等、新着情報、フォトレポートなど様々な情報を公開・発信する。	
	実 績	事業課でおこなったイベントの掲載、職員募集の掲載をおこなった。	
	効果課題	新型コロナウイルス感染拡大の影響で中止となったイベントがあり十分な広報活動が出来なかった。 小規模多機能型居宅介護事業所きやまぎ、たかやまが毎月発刊している広報誌についても今後掲載していきたい。	評価
			B

事業名		内 容	
マスコミ、宮古島市広報誌の活用	目 的	市民、関係団体、会員等へ活動・事業実施内容等の報告を行い社協活動への理解と協力が得られるようにする。	
	内容	様々な事業実施に伴う情報や事業実施状況をマスコミや宮古島市の広報誌を活用し情報発信を行う。	
	実績	<ul style="list-style-type: none"> ・学童募金23校を新聞2社で報道紹介 ・歳末たすけあい義援金伝達式報道 ・コロナ特例貸付の周知を新聞報道で依頼 ・長寿大学募集や日程を新聞報道で周知 ・介護予防普及啓発事業募集や日程等を新聞報道で周知 ・フードバンクについて新聞やTVにて報道 	
	効果課題	介護予防普及啓発事業の予定をマスコミ及び宮古島市広報誌へ掲載したことにより利用者が日程を確認しやすいようになっている。 新型コロナウイルス感染拡大の影響によりイベント等が実施できていないため、マスコミを活用した広報活動が不十分であった。	評価 B
SNSの活用	目 的	幅広い層の方、事業所への情報発信を行うためフェイスブックページを活用し広報活動を行う。	
	内容	フードバンク事業のフェイスブックページを活用し広報活動を行う。	
	実績	全国に活動を知って頂き、Facebookのメッセージから生活困窮者の利用につながったケースがあり有用性の高さが感じられたが、9月に発信の仕方について地域福祉課長と担当者との話がまとまらず、更新を停止した。	
	効果課題	令和4年3月14日にページを終了。社協ホームページにフードバンクのページを作成し情報発信を継続。	評価 B

受託事業

事業名		内 容	
地域子育て支援拠点事業（つどいの広場くれよん）（宮古島市より受託）	目 的	親とその子どもが気軽に集い、うち解けた雰囲気の中で語り合い、交流を図ることや、ボランティアを活用しての育児相談などを行う場を身近な地域に設置する事により、子育て中の親の子育てへの負担感の緩和を図り、安心して子育て、子育てができる環境を整備し、地域の子育て支援機能の充実を図る。	
	内容	利用対象乳幼児（0歳～5歳）とその親等 ①子育て親子の交流、つどいの広場の提供 ②子育てに関する相談、援助の実施（子育ての悩み相談等） ③地域の子育て関連情報の提供 ④子育て及び子育て支援に関する講習の実施 ⑤関係機関との連携 ⑥積極的な研修参加による職員の資質向上	
	実績	※利用状況については実績資料（7） コロナ禍であったが、人数制限しながら、昨年度以上の稼働率があり、行事も規模縮小しながら月1回～2回の頻度で開催することができた。	
	効果課題	前年度以上に実施することが出来た。 コロナの感染拡大による受け入れ休止の際に、利用親子へのサポートを充実させていく必要がある。	評価 A

事業名		内 容	
地域包括支援センターひらら、みやこ（宮古島市より受託）	目 的	<p>介護・医療・保健・福祉などのさまざまな面から高齢者を支える「総合相談窓口」です。高齢者の皆さんの心身の状態に合わせて地域で自立して生活できるように「介護予防の支援」、虐待の相談や成年後見制度活用の支援など「高齢者の権利を護る」支援、包括的・継続的に「住みよい地域づくり」支援を行います。</p> <p>地域包括支援センターは、地域の高齢者の総合相談、権利擁護や地域の支援体制づくり、介護予防の必要な援助などを行い、高齢者の保健医療の向上及び福祉の増進を包括的に支援することを目的とし、地域包括ケア実現に向けた中核的な機関として市町村が設置。</p> <p>宮古島市地域包括支援センターひらら（平良圏域） 宮古島市地域包括支援センターみやこ（平良圏域以外）</p>	
	内 容	<p>地域包括支援センターの主な業務は次の5つです。高齢者の保健医療の向上及び福祉増進の包括的支援事業。</p> <p>①介護予防ケアマネジメント業務 ②総合相談支援業務 ③権利擁護業務 ④認知症カフェの実施 ⑤包括的・継続的ケアマネジメント支援業務一体的に実施</p>	
	実 績	※件数等については実績資料（8）	
	効果課題	新型コロナウイルスでの事業制限もあったが、開催方法の工夫で実施できた事業もあった。人数・場所・リモートの活用感染予防対策などを工夫しながら、実施していきけるようにしていく。	評価
			A

介護保険関連事業

事業名		内 容	
居宅介護支援事業	目 的	<p>介護サービスに関する申請の代行や介護認定を受けた後に、在宅で介護を必要としている要介護者（要支援者）やその家族の状況、生活環境、意向に応じたケアプランを、介護支援専門員（ケアマネージャー）が作成し、そのプランに基づいて、適切な居宅サービスが提供されるよう、事業者関係機関との連絡調整を行うなど、在宅での介護支援を行う。</p>	
	内 容	アセスメント、ケアプラン作成、担当者会議開催 モニタリング、給付管理業務、介護相談業務	
	実 績	※件数については実績資料（9）	
	効果課題	<p>特定事業所加算Ⅱを算定する為に、困難事例や介護相談業務を通して、居宅支援に繋がるようにしている。</p> <p>同居する家族の支援が必要な場合、老々介護で、他にキーパーソンがいない場合の支援が今後の課題である。</p>	評価
			A
特定相談事業	目 的	<p>障害のある方やご家族から障害福祉サービスを利用するにあたっての相談や、日常の相談を受付、障害福祉サービスの利用計画の作成を行い、在宅生活、在宅サービスを受ける支援を行う。</p>	
	内 容	<p>さまざまな障害福祉に関する相談に対応し、障がい福祉サービスを利用するためのサービス等利用計画を作成する計画相談及びモニタリングを行う。</p>	
	実 績	※件数については実績資料（10）	
	効果課題	<p>平良地区以外の利用者が半数以上を占めており、城辺、伊良部、下地、上野地区の利用者支援に効果を上げている。</p> <p>課題については相談員1名のみで作成したプランに関する相談が出来きない状況である。</p>	評価
			A

Ⅲ、誰もが安心して暮らしていけるまちづくり

1. 権利擁護の仕組みの充実

受託事業			
事業名	内 容		
日常生活自立支援事業（権利擁護）	目的	認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者など判断能力が不十分な方に対して、福祉サービスの利用援助や日常的な金銭管理の援助を行うことにより、在宅での自立生活を支援するため実施。	
	内容	①生活支援員連絡会の定期的な開催（3回/年） ②行政や関係機関との連携強化 ③積極的な研修参加による専門員の資質向	
	実績	※件数等については実績資料（11）	
	効果課題	一人で生活することが不安定な状況であっても、本事業等を活用することで、本人が希望している生活が可能な限り継続できている。 利用者数の増加から、利用希望者すべてに対して、契約できていない状況である。	評価
法人後見受任事業（宮古島市より受託）	目的	判断能力が不十分なために意思決定が困難な人の判断能力を補うため、本会が成年後見人、保佐人又は補助人に就任することにより本人の権利擁護を図り、もって地域福祉の推進に寄与する。	
	内容	①サービス内容；財産管理と生活上の相談や利用者の安心生活のため身上監護を行う ②被後見人の適正な決定；運営審査委員会を設置し、専門家の意見により、後見人等の受任の判断を行う。 ③関係機関との連携；宮古島市、各種施設、日常生活自立支援事業と連携し後見の必要な市民の適正な利用を推進する。 ④積極的な研修参加による専門員の資質向上；研修会等へ積極的に参加することで専門員の資質向上を図り、柔軟な対応ができる専門員の質の向上を図る。	
	実績	※件数等については実績資料（12）	
	効果課題	判断能力の低下や親族不在等により、不安定な生活を送ってきた本人が、本事業を活用することで、安心、安定した生活を送ることが可能となった。また、本事業が後見人として活動するだけでなく、親族後見人をサポートすることで、受け皿の拡充にも努めている。	評価

2. 困難を抱えた市民への支援

共同募金、会費等自主財源充当事業			
事業名	内 容		
法外援護給付金	目的	宮古島市に居住する緊急かつ一時的に生活援助を必要とする生活困窮者（世帯）に対して、当面の生活維持を図る。	
	内容	1回に限り商品券を支給する。	
	実績	申請数8件、給付7件、却下1件 福祉サービス利用や支援で対応可能なため1件却下とした。	
	効果課題	緊急的な支援が必要な際の「食費」を中心に考え商品券で対応しているが、相談の際にはサービスを受けるために必要な費用や、通院費用等が捻出できない状況が見られた。今後は適用の範囲を柔軟にできるよう検討したい。	評価

事業名	内 容		
子育て応援事業	目 的	生後4ヵ月までの乳児のいるすべての家庭と子育てに必要な情報提供や関係機関との繋がりを持ち子育てへの不安を少なくする。	
	内 容	生後4ヵ月までの乳児のいるすべての家庭へ子育てに必要な情報提供や関係機関との繋がりを持つことを目的とし、その一環として児童委員や母子推進員と連携し1回に限りオムツを支給する。	
	実 績	・平良地区209世帯 ・城辺地区11世帯 ・上野下地地区18世帯 ・伊良部地区10世帯 ・困窮世帯44回	
	効果課題	アンケートの実施では、100%近くの回答があり今後、アンケート調査結果をまとめ、子育て世代の課題として、どう取り組むか関係機関と連携し取り組む。	評価 A
地域歳末たすけあい配分金事業	目 的	生活に困窮する世帯が明るいお正月を迎えらえるようにする。	
	内 容	民生委員から調査された該当世帯へ12月下旬に歳末たすけあい義援金配分金を支給する。	
	実 績	※利用状況等については実績資料(13)	
	効果課題	新型コロナウイルス感染症の影響は受けつつもほぼ例年とおりの義援金の配布ができた。今年度まで繰越金があり補填できていたが次年度からは繰越金がないため、実績向上の活動が必要。	評価 A
母子会交流会	目 的	宮古島市内のひとり親世帯相互の情報交換や交流を深める。	
	内 容	宮古島市母子寡婦福祉協会とクリスマス交流会を共催。	
	実 績	母と子の集い クリスマス会の実施。	
	効果課題	普段見慣れない音楽演奏やサンタクロースの登場等親子で楽しむことができた。	評価 A
フードバンク『んまんま』事業	目 的	生活困窮世帯の自立支援	
	内 容	地域の人から食料の寄付を受け、生活が困窮している人へ提供する。担当は地域福祉係及び宮古島市地域における生活困窮者支援等のための共助の基盤づくり事業担当者。	
	実 績	※利用状況等については実績資料(14)	
	効果課題	企業団体、個人から寄贈の申し出を受けるなど活動が地域に知られるようになった。生活に困った方が自らSNSや電話で連絡を下さり、利用につながるケースが増えた。□	評価 A
相談対応職員等スキルアップ研修	目 的	相談対応職員等のスキルアップを図るため、研修などに参加させ、困難を抱えた市民への対応力を強化し心の健康づくりを推進する。	
	実施時期	自主的な研修と外部研修への参加を推進し経費を負担する。	
	実 績	※研修実施状況については研修実績参照	
	効果課題	新型コロナウイルス感染拡大のため研修等の中止が多かったが、ZOOM等を利用した会議へは担当職員が参加した。	評価 B

受託事業

事業名	内 容		
宮古島市地域における生活困窮者支援等のための共助の基盤づくり事業（宮古島市より受託）	目 的	年齢や性別、置かれている生活環境などにかかわらず、地域において誰もが安心して生活を維持できるよう地域住民による共助の活性化を図ることと生活困窮者を始め、支援が必要な人と地域とのつながりを作り、これらを地域全体で支える基盤を構築し、地域福祉を推進させる。	
	詳細	①フードバンク活動のさらなる周知と拡充（フードボックスの増設、観光客を含めた周知、利用世帯を増やす。） ②市民講習会の実施（年間5回以上） ③SDGsの周知 フードバンク活動は困窮への対処療法として行い、市民講習会は困窮者が潜在的に持っている自己肯定感の問題へのはたらきかけとして行う。表面化した状況と根本的な対策の両面からアプローチし、現在から将来へ渡っての普遍的な効果をねらう。また、近年話題に上がってきた国連のSDGsを用い、貧困が個人の責任ではなく社会問題として捉えられるように啓発を行う。	
	実績	※件数等については参考資料（15） ・フードバンク活動 17,267品目の提供 ・市民講習会 9回 ・フードボックスや理想通貨等、様々の団体との協働を通して支え合いの基盤作りを進めた。	
	効果課題	① 上記『フードバンクんまんま活動』報告に同じ ② 終活講座が人気となり5回の開催となった。 ③ SDGsを活用した取り組みから、地域の企業団体が地域の支え合いに目を向けて、積極的なかかわりを持つ状況が生まれた。 課題としては、支え合いの基盤づくり事業の役割の大きさと比べて人員が少ないが、増員が見込めない。	評価 A
生活福祉資金貸付事務（沖縄県社会福祉協議会より受託）	目 的	低所得者や高齢者、障害者の生活を経済的に支えるとともに、その在宅福祉及び社会参加の促進を図ることを目的とした貸付制度です。それぞれの世帯の状況と必要に合わせた資金の貸付申請の相談受付を行います。	
	詳細	(1) 総合支援資金、福祉資金、教育支援資金 (2) 臨時特例つなぎ資金	
	実績	※件数等については実績資料（16）	
	効果課題	コロナ禍における各世帯の支援に繋がった。世帯の実情に合わせた相談実施の為、職員のスキルアップが必要。	評価 B
くらしのサポート事業（自主事業）	目 的	介護保険、障害者総合支援事業等のメニューで行えないサービスを行い在宅生活が円滑に過ごせるようにする。	
	詳細	宮古島市社会福祉協議会独自で実施。 宮古島市社協指定訪問介護事業所しゃきょう（上野老人福祉センター内）	
	実績	※件数等については実績資料（17）	
	効果課題	介護保険サービスや障害者総合支援サービスで対応できない利用者に対して必要な支援を行うことで制度を受けられるまでの生活等の支援に効果を上げている。	評価 A

3. 福祉活動の拠点整備

共同募金、会費等自主財源充当事業

事業名	内 容		
宮古島市総合福祉センター設置に向けた取り組み	目的	宮古島市社会福祉協議会やボランティア団体、当事者団体等の活動拠点の中心的施設と中福祉圏域拠点の施設整備を図り福祉活動の円滑な推進を図る。	
	詳細	宮古島市と協働し、宮古島市社会福祉協議会や当事者団体、市民が利用しやすい場所にするため計画の段階からの参画が出来るよう要請行動と早期設置を要望する。	
	実績	第3次地域福祉推進策定に向けて協議を行った。	
	効果課題	宮古島市第3次地域福祉推進計画に位置づけは出来なかったものの、必要性は認識されているため、今後、総合福祉センター設置に向けて宮古島市へ要請を行う。	評価 B

受託事業

事業名	内 容		
宮古島市生活支援体制整備事業	目的	高齢者の多様な日常生活上の支援体制の充実・強化及び高齢者の社会参加の推進を図っていくことを目的に実施。	
	詳細	1. 通いの場事業 ①通いの場 ②いきいき百歳体操 2. 宮古島市生活支援体制整備事業 ①地域のニーズと資源の状況の見える化 ②目指す地域の姿・方針の共有・意識の統一 ③関係者のネットワーク構築 ④生活支援の担い手に係る企画 ⑤ニーズとサービスのマッチング	
	実績	※件数等については実績資料（18）	
	効果課題	コロナ禍で休止期間中は、通いの場のボランティアによる見守り活動で参加者の様子がわかる。メディアや社協ホームページを活用し、知ってもらう機会が増えた。専門職派遣（認知症、口腔ケア、栄養等）、外部講座（終活、消費者トラブル）も好評で今後も継続していく。通いの場が新しく立ち上がる一方、高齢により、後任のボランティア不足が課題。	評価 A
宮古島市指定管理者運営事業 (宮古島市より指定)	目的	社会福祉センター、老人福祉センターの維持管理等。	
	詳細	老人福祉センター（平良、伊良部、下地上野）及び社会福祉センターの運営を行う。	
	実績	※件数等については実績資料（19） 新型コロナウイルス感染拡大により緊急事態宣言下では利用制限のため利用の減少があったが、感染者の発生もなく安心安全確保の上運営ができた。民生委員、老人クラブ等各団体の利用もありサービスは確保できている。	
	効果課題	伊良部老人福祉センターで運営していた訪問介護事業所いらぶの閉鎖に伴い運営経費の財源が困難となっていたが、令和4年度からは市の支援により維持できる見通しとなっている。	評価 A

IV、自主財源確保と組織体制強化に向けた取り組み

1. 自主財源確保に向けた取り組み

共同募金、会費等自主財源充当事業			
事業名	内 容		
令和3年度社協一般会員会費説明会	目 的	自主財源確保と社協活動の説明を行い理解を深めてもらう。	
	詳細	行政連絡員、自治会長を対象に社協会員会費説明会及び戸別会費徴収依頼。（5地区にて順次開催）	
	実績	※件数等については実績資料（20） 説明会の開催は未実施。	
	効果課題	コロナ禍における感染予防対策を行いながら説明会を行うことも重要であるが、社協会費についての理解を得て協力を繋がるような資料や説明を行えるかが課題といえる。	評価 C
令和3年度社協会員募集	目 的	自主財源確保と社協活動の説明を行い理解を深めてもらう。	
	詳細	市内の業者・会社・官公庁・民間事業所・各団体へ会員会費の募集を行う。	
	実績	※件数等については実績資料（20）	
	効果課題	新型コロナウイルス感染拡大防止の為、戸別会費は依頼中止とした。	評価 B
赤い羽根共同募金説明会	目 的	自主財源確保と相互助け合い活動資金の確保を行い社協活動への理解を深めてもらう。	
	詳細	自治会、職場等を対象に募金の趣旨説明を行い募金の協力依頼をする。	
	実績	・平良地区2か所（民児協区別）・伊良部地区 ・城辺地区 ・上野地区 ・下地地区 全6か所	
	効果課題	出席率が6～7割であり十分に説明周知ができていない。	評価 A
赤い羽根共同募金依頼	目 的	自主財源確保と相互助け合い活動資金の確保を行い社協活動への理解を深めてもらう。	
	詳細	宮古島市内外の業者・会社・官公庁・民間事業所・各団体へ赤い羽根共同募金（職域募金・法人募金・団体募金）への協力依頼。	
	実績	※件数等については実績資料（21）	
	効果課題	コロナ感染拡大防止対策を行い、平良地区を2地区に分けて開催するなど対策を行った。行政連絡員による戸別訪問への対策や支援を十分に検討する必要がある。	評価 A

事業名	内 容		
赤い羽根共同募 金街頭募金	目 的	自主財源確保と相互助け合い活動資金の確保、思いやりの心助け合いの心を育てる。	
	詳細	学生ボランティアへ依頼し店舗前で募金活動 市内の商業施設店舗前にて学生ボランティアを中心に実施する。	
	実績	○10/23 平良中生徒15名○12/12 宮古高等学校生徒12名	
	効果 課題	ボランティア活動意識の高い学校側の申し出で街頭募金を実施をした。コロナ禍によりボランティア要請に躊躇していたが募金の受取や羽の受け渡し方法、大声での呼びかけを避け音響装置のみで行うなどの検討が必要。	評価 B
赤い羽根共同募 金イベント募金	目 的	自主財源確保と相互助け合い活動資金の確保、思いやりの心助け合いの心を育てる。	
	詳細	学生ボランティアへ依頼し募金活動 宮古島市内で開催されるイベントと協力し学生ボランティアを中心にイベント募金を実施する。	
	実績	コロナ感染拡大防止の為、ボランティア募集なし。 またイベント募金の実施も中止とした。	
	効果 課題	宮古島市内での各イベント等もコロナ禍の影響を受け中止が相次いでいる。コロナ禍でも開催可能な方法でのイベント募金の検討が必要。	評価 C
地域歳末助け合 い運動	目 的	宮古島市市内の業者・会社・官公庁へ歳末職域募金として協力依頼。	
	詳細	宮古島市市内の業者・会社・官公庁へ歳末職域募金として協力依頼。	
	実績	※件数等については実績資料（22）	
	効果 課題	実績は例年通り言ったところだが、次年度は繰越金がほぼないため対応が必要。	評価 A
歳末チャリ ティーイベント	目 的	多くの義援金の協力を得ることにより、生活に困窮する世帯が明るいお正月を迎えられるようにする。	
	詳細	例年は伊良部地区で開催、イベントはグラウンドゴルフ大会。	
	実績	イベント事業実施なし。	
	効果 課題	次年度の配分金確保のためにはイベント募金の検討が必要。	評価 C

事業名		内 容	
チャリティーバザー	目 的	家庭内の不用品を持ち寄り販売し資源のリサイクルと自主財源の確保を行う。	
	詳細	役職員へ呼びかけ、家庭内で不要になったものをチャリティーバザーで販売し自主財源の確保を行う。	
	実績	未実施	
	効果課題	新型コロナ感染拡大の影響により開催できず。次年度については宮古島市社協全体、課別、事業別での開催等を検討。	評価
福祉資金造成芸能チャリティー公演	目 的	宮古島市内外で活躍している芸能家有志及び福祉資金造成の趣旨に賛同される方々の御協力を得て、より充実した福祉事業の推進と、多様な福祉ニーズへの対応を図っていくことを目的に開催する。	
	詳細	宮古島市で活動する芸能団体へ参加を依頼し芸能チャリティー公演を開催。	
	実績	未実施	
	効果課題	新型コロナウイルス感染拡大により、参加者、入場者の感染予防のため中止とした。今後、コロナ禍での入場者数制限や開催の方法について検討する必要がある。	評価

介護保険関連事業

事業名		内 容	
訪問介護事業	目 的	自宅において身体の清潔保持、身の回りの清潔保持、食事介助等の支援により在宅生活の継続。	
	詳細	介護福祉士やホームヘルパーが自宅に赴き、入浴、排泄、食事等の介護、掃除、洗濯、調理等の援助、通院時の外出移動サポート等の日常生活上のお世話を行う。	
	実績	※件数等については実績資料（23）	
	効果課題	城辺、伊良部、下地、上野地区のサービスが多く、サービスが不足している地域において重要な役割を果たしている。人材確保人材育成が喫緊の課題としてあげられる。	評価
通所介護事業		家族介護負担の軽減、バランスの取れた食事、入浴、日常生活訓練、健康チェック等で在宅生活の維持を図る。	
	詳細	要介護状態にある高齢者がデイサービスセンター等へ通い、入浴、排せつ、食事等の介護、機能訓練を日帰りで行う。	
	実績	※件数等については実績資料（24）	
	効果課題	令和3年6月の時点で令和2年度年間約500万円の赤字を計上し、令和3年度についても同額以上の赤字となることが見込まれていた通所介護事業所いらぶを令和3年12月31日に閉鎖し、人員については職員の希望をとった結果、退職3名、通所介護事業所城辺へ3名、小規模多機能型居宅介護事業所たかやま1名移動となり、移動先の人員不足軽減につなげた、また年間約500万の赤字事業がなくなることで財政の健全化へ貢献した。通所介護事業所ぐすくべは職員の不足、車両の不足（車いす対応車両が無い）、新型コロナウイルス感染拡大の影響などで利用者を増やすことが出来なかったが、通所介護事業所いらぶ閉鎖に伴い職員3名、車両（車いす対応車両）1台を配置することが出来、今後利用者を増やす体制が整いつつある。	評価

	事業名	内 容		
	小規模多機能型 居宅介護事業	目 的	<p>介護を必要とされている人が住み慣れた地域の中で安心して暮らせるよう、柔軟な対応を行う。 施設への「通い」を中心として、短期間の「宿泊」や利用者の自宅への「訪問」を組み合わせ、家庭的な環境と地域住民との交流のもとで、日常生活上の支援や機能訓練を行う。</p> <p>小規模多機能型居宅介護事業所きゃーぎ（城辺地区）城辺字長間 小規模多機能型居宅介護事業所たかやま（下地上野地区）上野字新里</p>	
		詳 細	<p>事業所がある地域の高齢者を対象とする。 小規模多機能型居宅介護事業所に配置されているケアマネージャーがケアプランの作成する。 登録定員はきゃーぎ29名、たかやま25名となっている。</p>	
		実 績	<p>※件数等については実績資料（25） 新規で加算をとり収入が大幅に増加した。 利用者も安定しており今後継続して地域の高齢者福祉へ貢献していく。</p>	
		効果 課題	<p>職員の確保、広報活動に難があるため、人員確保のための施策を検討していく必要がある。 広報活動が弱い部分があるため、施設の外に掲示板を作成し地域の方にサービス内容や活動内容を広報して行く必要がある。 ホームページへの掲載回数を増やし広報活動を行っていく必要がある。</p>	<p>評価</p> <p style="text-align: center; font-size: 2em;">A A</p>
	障害者総合支援 事業	目 的	<p>障がい者総合支援法に基づき障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援する、障害福祉サービスの実施。</p>	
		詳 細	<p>障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援する、障害福祉サービス ①居宅介護（食事や入浴、トイレなどの介助） ②生活介護（日常的な介護や見守り、生活支援などを必要としている方（原則として障害支援区分「3」以上であること）に対して、日中の介護、介助や見守り支援を行うほか、創作的活動や生産活動、地域との交流活動などを支援） ③重度障害者等包括支援（最重度の障害（原則として障害支援区分が最重度の「6」であること）があり、常時の介護を必要としている方に対して、居宅介護や短期入所、生活介護など複数の介護サービスを組み合わせる支援） ④同行援護（視覚障害により自力での移動が難しい方に対して外出時の支援）</p>	
		実 績	<p>※件数等については実績資料（26）</p>	
		効果 課題	<p>城辺、伊良部、下地、上野地区のサービスが多く、サービスが不足している地域において重要な役割を果たしている。 人材確保人材育成が喫緊の課題としてあげられる。</p>	<p>評価</p> <p style="text-align: center; font-size: 2em;">A</p>
	一般旅客自動車 運送事業	目 的	<p>通院時の乗降介助や移動困難な方の外出が実施できるよう法令に基づき実施。</p>	
		詳 細	<p>道路運送法により移動支援、病院への送迎等のサービスを実施するために当事業実施が必須となっている。 道路運送法第78条第2号に定める乗車定員11人未満の自動車で、運行時に寝台及び車椅子を固定することのできる設備を有する特殊用途自動車運送事業を行う。</p>	
		実 績	<p>※件数等については実績資料（27）</p>	
		効果 課題	<p>城辺、伊良部、下地、上野地区のサービスが多く、サービスが不足している地域において重要な役割を果たしている。</p>	<p>評価</p> <p style="text-align: center; font-size: 2em;">A</p>

事業名	内 容		
移動支援事業 (宮古島市より 受託)	目 的	外出のための支援を行う事により地域における自立生活及び社会参加の促進を図る事を目的に実施。	
	詳 細	屋外での移動が困難な障がい者等に対して、車両での送迎、介助者による付き添い等外出のための支援を行う。	
	実績	※件数等については実績資料(28)	
	効果 課題	城辺、伊良部、下地、上野地区のサービスが多く、サービスが不足している地域において重要な役割を果たしている。	評価
			A

2. 組織体制強化に向けた取り組み

共同募金、会費等自主財源、補助金充当事業

事業名	内 容		
評議員会	目 的	事業計画・資金収支予算の審議、事業報告・決算報告の審議、定款及び各種規程等の改正、新設に伴う審議、その他評議員会で審議が適当と認められる事項の審議。	
	詳細	年3回開催	
	実績	※件数等については実績資料(33)	
	課題 効果	令和2年度事業報告及び決算、令和4年度事業計画及び予算の評議が行われた。又、今年度は任期満了に伴う評議員の改選が行われた。	評価
			A
理事会	目 的	事業計画・資金収支予算の審議、事業報告・決算報告の審議、定款及び各種規程等の改正、新設に伴う審議、その他理事会で審議が適当と認められる事項の審議。	
	詳細	年4回開催	
	実績	※件数等については実績資料(34) 今年度は会長副会長選任の会議あり。	
	課題 効果	規程の改廃や新規制定等の協議、事業計画・予算の協議、事業報告・決算の協議が行われた。	評価
			A
役員会	目 的	会長、副会長、事務局長、企画総務課長、地域福祉課長、事業課長による事業実施に関するさまざまな協議。必要に応じ担当職員を招集。	
	詳細	月に2回程度開。	
	実績	令和3年度は合計23回開催。	
	課題 効果	課長会議で検討された事項の報告や法人内の重要な案件などが協議され、方針等の確認がされるとともに内部統制に重要な役割を果たしている。	評価
			A
課長会	目 的	事務局長、企画総務課長、地域福祉課長、事業課長による事業実施に関するさまざまな協議。必要に応じ担当職員を招集。	
	詳細	月に2回～3回程度開催。	
	実績	令和3年度は34回開催。	
	課題 効果	各課の事業運営に関する細かな状況報告や課題検討等が行われ、事務局長を含む課長間の共通認識が維持できており、連携が図られている。	評価
			A

事業名	内 容		
事業専門部会議	目 的	各事業ごとに事業推進に関し必要な事項を協議。	
	詳細	各事業において随時開催。	
	実績	各課、各事業において専門職会議等定期的に開催。	
	課題効果	専門的立場における情報共有や各種課題解決に向けた協議がなされ、各分野におけるサービスの質の向上につながっている。	評価 A
決算監査	目 的	監事による令和2年度事業報告及び決算報告を監査。	
	詳細	監事二人による監査、一人は会計業務に関する監査、一人は事業内容による監査。	
	実績	令和3年5月に監査委員2名による決算監査を実施。事業報告、会計書類等の監査が無事行われた。	
	効果課題	決算監査により事業運営や経営等が規律に則り適正に実施されていることが確認された。	評価 A
評議員選任・解任委員会	目 的	宮古島市社会福祉協議会の評議員選任及び解任をおこなう。	
	詳細	宮古島市社会福祉協議会の評議員選任及び解任をおこなう。	
	実績	令和3年6月11日に第1回委員会を開催。	
	効果課題	評議員の選任及び解任を実施。	評価 A
第三者委員会	目 的	宮古島市社会福祉協議会の実施する事業への苦情へ適切に対処するため設置。	
	詳細	第三者委委員（2名）会長、副会長、事務局長、企画総務課長、地域福祉課長、事業課長による苦情受付状況報告及び解決に向けた会議。	
	実績	未実施	
	効果課題	新たな第三者委員の選任ができず、委員会が開催されなかった。令和4年3月理事会で選任。	評価 C
職員研修	目 的	社会福祉協議会事業、リスク管理、各種制度等について理解を深めるとともに、各事業相互の連携を深める。	
	詳細	①全職員を対象に、宮古島市社会福祉協議会で行っている様々な事業について理解を深めるとともに、各事業相互の連携を深める。 ②各課において所属課の事業への理解を深めるとともに、事業相互の連携を図る。	
	実績	※研修実績	
	効果課題	今回は法改正に伴うハラスメントについての研修会を実施。職員の理解を深めることが出来た。	評価 A

事業名	内 容		
新任職員研修	目 的	新任職員のスキルアップを図る。	
	詳 細	雇用3年以内の職員を対象に、宮古島市社会福祉協議会で行っている様々な事業についての基礎知識を学ぶ。	
	実績	※研修実績	
	効果課題	社会福祉協議会で実施する事業や業務に従事するうえで基本的な知識技術を学ぶことが出来た。	評価
事業課職員研修	目 的	事業課所属の各部署を対象に研修を行い、職員のスキルアップ、自分たちが働いている社協への理解、災害時対応、緊急時の対応、交通事故とにあった時の対応などを学んでいく。	
	詳 細	①全職員を対象に、宮古島市社会福祉協議会で行っている様々な事業について理解を深めるとともに、各事業相互の連携を深める。 ②各課において所属課の事業への理解を深めるとともに、事業相互の連携を図る。	
	実績	※研修実績	
	効果課題	年間12回を予定していたが、回しか実施できなかった。各研修内容の選定、資料の準備等で時間がかかっているため、様々な研修を実施できるよう資料をそろえるとともに、インターネット等を活用し最新の情報を取り入れる必要がある。	評価
事業課各部署ミーティング	目 的	事業課の各部署において事業課長、事業管理者（又は代表者）、職員が一堂に会し、各事業所の基本方針、当該月の計画等を話し合い統一した意識のもとサービスが実施できるよう行う。	
	詳 細	事業課各部署にて1～3ヵ月1回ミーティングを行う。	
	実績	※研修実績	
	効果課題	各部署にて1か月1回以上開催し、課長と事業管理者、職員の連絡、職員相互の連絡をこれまで以上に密に取れるようにする必要がある。	評価

実績資料

(1) 宮古島市長寿大学開設運営事業【宮古島市】（延べ人数）

講座・地区名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
舞踊 平良・池間							12	17	29	7	5	20	90
舞踊 平良・西原						18	72	68	53	29	32	19	291
舞踊 平良・久松							28	39	34			25	126
舞踊（日舞）平良・老福							24	21	24			7	76
大正琴 平良・老福				18	8	17	22	24	25		8	13	135
三味線 平良・老福				7	9	7	27	31	23		5	24	133
歌と発声 平良・ゆいみなー						15	36	23	44		0	14	132
三味線 城辺・社福				9	7	7	17	19	17		2	10	88
舞踊（日舞）伊良部・				10	11	11	22	24	18			16	128
三味線 伊良部・				6	7	0	15	9	10			16	92
舞踊（琉舞）伊良部・							18	19	12		4	12	196
大正琴 伊良部・				5	12	7	14	14	13			16	134
舞踊（日舞）上野				12	17	12	18	23	22			38	142
大正琴 上野				6	4	3	12	13	26		13	15	92
三味線 上野				1		10	19	2	13	4	8	10	67
合計	0	0	0	74	75	107	356	346	363	40	77	245	1,922

令和2年度総参加人数	929件	令和3年度総利用件数	1,922件	前年比	206.89%
------------	------	------------	--------	-----	---------

(2) ボランティア依頼等

内 容	開 催 日	派遣ボランティア	人 数
赤い羽根街頭募金	令和3年10月23日	平良中学校	15名
赤い羽根街頭募金	令和3年12月12日	宮古高等学校	12名
CSW関わる要支援者宅引越し作業	令和4年2月20日	郷心会	9名

令和2年度総件数	1件	令和3年度総件数	3件	前年比	300.00%
----------	----	----------	----	-----	---------

ボランティア保険申込受付

保 険 名	件 数	保 険 名	件 数
ボランティア活動保険	10件	ボランティア行事保険	22件
福祉サービス総合保障	1件		

令和2年度総件数	32件	令和3年度総件数	33件	前年比	103.13%
----------	-----	----------	-----	-----	---------

(3) ふれあい生きいきサロン 域福祉活動事業、共同募金配分事業（高齢者サロン）

No	サ ロ ン 名
1	ぶからすサロン
2	向日葵の会
3	ときめき会
4	たんぼぼ
5	とびとりサロン
6	池間みやらび
7	たんぼぼの会
8	東部サロン

No	サ ロ ン 名
9	竹の子の会
10	ローズサロンの会
11	富名腰までいだサロン
12	ゆうむつ会タナフグサロン
13	福山ゆうむつ会
14	腰原サロン
15	すなかぎサロン
16	ユクダキサロン

No	サ ロ ン 名
17	宮古島イキイキ向上委員会
18	あじさい
19	ゆんたく広場

上記以外でも地域福祉計画推進事業、生活支援コーディネーター設置事業、介護予防普及啓発事業と連携し実施

令和2年度総件数	23件	令和3年度総件数	19件	前年比	82.61%
----------	-----	----------	-----	-----	--------

(4) 宮古島市地域福祉計画推進事業【宮古島市】

◇相談延べ人数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
相談件数	118	38	41	38	32	41	47	52	48	37	35	36	563

令和2年度総件数	1,530件	令和3年度総件数	563人	前年比	36.80%
----------	--------	----------	------	-----	--------

◇地域福祉懇談会開催状況

日 付	会 場	参加人数	備 考
2021年4月21日	社協伊良部支所	38名	コロナワクチン接種予約についての説明
2021年4月8日	吉野公民館	8名	C S W周知・福祉の情報提供 ワクチン接種関係について

令和2年度総件数	1件	令和3年度総件数	2件	前年比	200.00%
----------	----	----------	----	-----	---------

◇小地域ネットワーク協力員会議開催状況

開 催 地 区	開催回数	参加人数(延べ)	開 催 地 区	開催回数	参加人数(延べ)
上角	2回	4名	上地	3回	12名
平良第二民児教区	1回	18名	上野	2回	11名
久貝	1回	4名	嘉手苺	1回	4名
神屋	1回	3名	洲鎌	1回	4名
伊良部	1回	6名	川満団地	1回	5名
保良	2回	12名	池間	1回	9名
東川根	3回	24名	狩俣	1回	2名
宮原	1回	10名	高野	1回	10名
吉野	2回	19名	福南	1回	12名
比嘉	1回	10名	友利	1回	20名

令和2年度総件数	16件	令和3年度総件数	28件	前年比	175.00%
----------	-----	----------	-----	-----	---------

◇その他の事業及び研修会等参加状況

日本語教室開催（毎週水曜日）

宮古島在外国人出身者を対象に出前講座開催(3回)

【協力：沖縄国際大学法学部教授・経済

学部准教授、琉球大学大学院准教授】

手話サークル開催（毎週火曜日）

令和3年度届け！みんなのこころ！にっこり手紙プロジェクト

実施月	実施学校名	児童生徒数	送り先	人数
11月～12月	久松放課後クラブ	15名	久松地区高齢者	15名
11月～12月	久松幼稚園	40名	久松地区高齢者	40名
11月～12月	鏡原放課後児童クラブ	27名	野原越地区高齢者	27名
8～1月	平一小学校	35名	神屋地区、平良地区高齢者	35名

令和2年度総件数	実績なし	令和3年度総件数	9件	前年比	—
----------	------	----------	----	-----	---

(5)自治会サポート助成事業

月日	申請自治会名	内容	参加人数
令和3年11月28日	野原越自治会（平良）	公民館花いっぱい運動	10名
令和3年11月23日	豊原自治会（上野）	グラウンドゴルフ交流会	50名
令和3年11月19日	大浦自治会（平良）	住民交流忘年会	50名
令和3年11月24日	仲屋自治会（平良）	グラウンドゴルフ友の会大会	20名
令和3年12月5日	県営平良東団地（平良）	自治会内の清掃活動	92名
令和3年12月5日	川満自治会（下地）	川満部落秋祭り	100名
令和3年12月12日	福山自治会（平良）	グラウンドゴルフ大会	50名
令和3年12月19日	狩俣自治会（平良）	クリスマス会	80名
令和3年12月19日	高野自治会（平良）	グラウンドゴルフ交流会	35名
令和3年12月19日	加治道自治会（城辺）	グラウンドゴルフ交流会	55名
令和3年12月19日	細竹自治会（平良）	清掃活動及び交流会	35名
令和3年12月25日	漲水自治会（平良）	清掃活動	7名
令和3年12月26日	保良自治会（城辺）	グラウンドゴルフ交流会	30名
令和4年2月23日	七又自治会（城辺）	住民交流会	20名
令和4年2月27日	東川根4区（平良）	道路清掃ボランティア活動	60名
令和4年2月27日	長浜自治会（伊良部）	ゲートボール交流・美化清掃活動	10名
令和4年3月27日	池間自治会（平良）	海岸清掃	80名

令和2年度総件数	9件	令和3年度総件数	17件	前年比	188.89%
----------	----	----------	-----	-----	---------

(6) 介護予防普及啓発事業（生きいき教室）【宮古島市】

地区名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
平良老人福祉センターA	39			36	12	20	63	62	61		25	48	366
平良老人福祉センターB	42			41	30	48	63	65	62	15	13	58	437
下崎・西原	40			23	14	25	42	38	53	12		53	300
荷川取	50			20	24	21	45	43	51		11	49	314
狩俣	18			7	7	10	26	21	25		5	19	138
伊良部	35			26	22	30	47	42	41	6	8	30	287
西城A	53			17	12	5	44	35	42	9	18	25	260
城辺	38			34	16	27	33	48	40		8	31	275
西城B	21			24	18	20	36	39	34		10	37	239
福嶺	62			35	33	54	81	58	83	20		73	499
砂川	73			32	23	23	64	71	70		11	67	434
川満・来間	37			31	21	20	22	41	43		11	44	270
与那覇	30			16	6	7	38	38	42		10	31	218
上地	19			11	6	13	23	21	33			30	156
洲鎌、棚根、嘉手苺、入江	46			36	10	11	33	41	48		18	21	264
上野	50			21	22	23	51	58	48		15	64	352
合計	653			410	276	357	711	721	776	62	163	680	4,809

令和2年度総件数	5,693件	令和3年度総件数	4,809件	前年比	84.47%
----------	--------	----------	--------	-----	--------

(7) 地域子育て支援拠点事業（つどいの広場くれよん）【宮古島市】

延べ人数

内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用状況（乳幼児）	85	80	86	80	23	0	83	98	134	10	128	109	916名
利用状況（保護者）	86	79	88	80	22	0	88	100	140	11	132	109	935名
電話相談（休止期間）					12	2				20			34名

令和2年度総件数	1,467人	令和3年度総件数	1,885人	前年比	128.49%
----------	--------	----------	--------	-----	---------

事業名	開催日	参加人数	事業名	開催日	参加人数
親子クッキング（あんまん作り）	R3・4・9	9名	子育て講座（絵本講座）	R3・11・12	10名
親子ウォーキング（植物園）	R3・4・16	8名	まつぼっくり製作	R3・11・26	12名
4月生まれの誕生会	R3・4・22	12名	サンタさんの製作	R3・11・19~12・1	18名
こいのぼり製作	R3・4・19 ~ 4・27	19名	クリスマス会	R3・12・17	17名
親子クッキング（お好み焼き）	R3・5・12	8名	節分の集い	R4・2・3	8名
父の日プレゼント作り	R3・6・14~6・18	16名	12・1・2月生まれの誕生会	R4・2・22	10名
七夕製作	R3・7・1 ~ 7・7	12名	ひなまつり会	R4・3・3	12名
7月生まれの誕生会	R3・7・16	10名	3月生まれの誕生会	R4・3・10	10名
親子クッキング（くずもち作り）	R3・8・5	5名			
8・9・10月生まれの誕生会	R3・10・15	10名			
ハロウィンの集い	R3・10・29	8名			

令和2年度総件数	5件	令和3年度総件数	19件	前年比	380.00%
----------	----	----------	-----	-----	---------

(8) 地域包括支援センター受託事業【宮古島市】

◇総合相談事業

ひらら	年間延べ件数	1,220件	実数	518件	認知症支援推進員活動件数	0件
みやこ	年間延べ件数	973件	実数	367件	認知症支援推進員活動件数	0件
計		2,193件		885件		0件

令和2年度総件数	2,289件	令和3年度総件数	2,193件	前年比	95.81%
----------	--------	----------	--------	-----	--------

◇権利擁護事業

ひらら	虐待通報件数	18件	事実確認件数	17件
みやこ	虐待通報件数	3件	事実確認件数	3件
計		21件		20件

令和2年度総件数	28件	令和3年度総件数	21件	前年比	75.00%
----------	-----	----------	-----	-----	--------

◇包括的・継続的ケアマネジメント

会議名	地区	回数	参加人数
地域ケア会議	ひらら	36回	573名
	みやこ	36回	573名
介護支援員との会議	ひらら	1回	
	みやこ	0回	
共催または参加会議	ひらら	121回	
	みやこ	135回	
介護支援専門員への支援	ひらら	18回	
	みやこ	20回	

令和2年度総件数	517回	令和3年度総件数	367回	前年比	70.99%
----------	------	----------	------	-----	--------

◇一般介護予防事業

内容	回数又は件数			参加延べ人数		
	ひらら	みやこ	計	ひらら	みやこ	計
相談件数	0件	0件	0件			0名
介護予防教室の開催	0回	0回	0件	0名	0名	0名
介護予防に関する講話	18回	7回	25件	217名	124名	341名
地域リハビリテーション活動支援			0件			0名

令和2年度総件数	463名	令和3年度総件数	341名	前年比	73.65%
----------	------	----------	------	-----	--------

◇指定介護予防支援事業

	ひらら	みやこ	計
介護予防ケアプラン作成件数	1,420件	1,089件	2,509件
介護予防ケママネジメント	1,352件	1,393件	2,745件

令和2年度総件数	5,711件	令和3年度総件数	5,254件	前年比	92.00%
----------	--------	----------	--------	-----	--------

◇認知症カフェ

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開催回数	2	0	0	2	0	0	5	4	0	0	1	4	18回
参加人数	13	0	0	15	0	0	28	23	0	0	8	26	113名

令和2年度総件数	151名	令和3年度総件数	113名	前年比	74.83%
----------	------	----------	------	-----	--------

(9) 居宅介護支援事業

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護度													
介護支援	86	89	87	85	83	87	89	93	95	95	96	97	1,082
予防支援	2	2	2	2	2	2	2	2	1	1	1	1	20
予防ケアマネジメント	3	2	2	2	2	3	3	3	3	1	3	3	30
合計	91	93	91	89	87	92	94	98	99	97	100	101	1,132

令和2年度総利用件数	996件	令和3年度総利用件数	1,132件	前年比	113.65%
------------	------	------------	--------	-----	---------

◇ケアプラン検討会議 53回

(10) 特定相談事業

地区名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
しゃぎょう	8	4	7	8	5	3	3	7	6	6	5	3	65件

令和2年度総利用件数	70件	令和3年度総利用件数	65件	前年比	92.86%
------------	-----	------------	-----	-----	--------

(11) 日常生活自立支援事業（権利擁護）【沖縄県社会福祉協議会、宮古島市】

◇相談援助件数 4,991件/年

◇契約締結件数 8件/年

◇支援件数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
456	451	425	414	416	381	415	420	449	329	351	484	4,991

令和2年度総利用件数	4,631件	令和3年度総利用件数	4,991件	前年比	107.77%
------------	--------	------------	--------	-----	---------

◇年度未利用者数

	認知症高齢者	知的障害者	精神障害者	合計
件数	25件	40件	44件	109件

令和2年度総利用件数	110件	令和3年度総利用件数	109件	前年比	99.09%
------------	------	------------	------	-----	--------

(12) 法人後見受任事業【宮古島市】

◇相談、支援件数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
相談援助件数	303	252	300	315	305	237	320	281	317	239	246	290	3,405
利用者数	29	29	29	29	30	30	30	31	30	29	29	29	354

令和2年度総利用件数	2,295件	令和3年度総利用件数	3,405件	前年比	148.37%
------------	--------	------------	--------	-----	---------

◇年度末利用者内訳

	認知症高齢者	知的障がい者	精神障がい者	その他	合計
件数	10件	10件	9件	0件	29件

令和2年度総利用件数	29件	令和3年度総利用件数	29件	前年比	100.00%
------------	-----	------------	-----	-----	---------

◇会議開催及び研修参加状況

- ・運営審査会開催1回
- ・法人後見推進会議等参加21回

(13) 歳末助け合い運動配分実績額

世帯種別	合計	世帯種別	合計
一人暮らし高齢者	113世帯	母子父子世帯	34世帯
高齢者世帯	20世帯	長期療養児(者)を抱える世帯	11世帯
寝たきり高齢者を抱える世帯	6世帯	障害児(者)を抱える世帯	9世帯
生活困窮世帯	18世帯	合計	211世帯
一世帯当たりの配分額	3,000円	配分額	633,000円

令和2年度件数	196件	令和3年度件数	211件	前年比	107.65%
---------	------	---------	------	-----	---------

(14) フードバンク活動

(食品個数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
寄付	1,962	654	1,719	1,556	1,635	2,299	2,413	1,165	672	2,252	1,665	1,317	19,309
提供	1,083	857	877	1,406	1,374	2,084	1,540	1,199	1,663	1,592	2,222	1,370	17,267

◇フードバンク利用者状況 327回 延べ数

世帯種別	利用回数	世帯種別	利用回数
ひとり親世帯	82	コロナウイルス感染症による収入減世帯	9
多子世帯	22	認知症を抱える世帯	5
高齢者世帯	36	身体障がい児(者)を抱える世帯	5
精神障がい児(者)を抱える世帯	25	アルコール依存症を抱える世帯(者)	10
単身世帯	51	引きこもりを抱える世帯	1
生活保護世帯	16	外国人世帯	4
知的障がい児(者)を抱える世帯	12	障がい児療養中の世帯	7
DV被害世帯(者)	6	ホームレス	5
生活保護申請中の世帯	21	失業中の世帯	6
病気・傷病療養中世帯(者)	4		

令和2年度件数	458件	令和3年度件数	327件	前年比	71.40%
---------	------	---------	------	-----	--------

(15) 宮古島市地域における生活困窮者支援等のための共助の基盤づくり事業【宮古島市】

◇フードバンク「んまんま」と協働している企業

企業名	内容
宮古島市役所エコアイランド推進課	理想通貨の配布
株式会社沖縄銀行 宮古支店	フードボックスの設置
たびのホテルLIT	フードボックスの設置
ホテルローカス	フードボックスの設置
離島未来ラボ	フードバンク活動の周知
おきなわこども未来	食品提供
イオン琉球株式会社 市内2店舗	イエローレシートキャンペーン・フードドライブ実施協力
沖縄県メモリアル整備協会宮古島 メモリアルパーク	定期的な食品の寄贈・講習会への講師派遣
第一生命保険株式会社宮古島オフィス	チラシ配布

令和2年度件数	7件	令和3年度件数	9件	前年比	128.57%
---------	----	---------	----	-----	---------

◇フードバンクへの寄付協力 団体・企業数

企業20社	団体 4	学校(児童生徒)1校	行政 1
-------	------	------------	------

令和2年度件数	34件	令和3年度件数	26件	前年比	76.47%
---------	-----	---------	-----	-----	--------

◇不用品マッチング

寄付者 (個人8名 企業3社 5団体)

品名	寄付者数	品名	寄付者数
おもちゃ	2団体	感染予防品(マスク・消毒液)	企業1社
	個人1名		1団体
衣類	企業1社	生理用品	1団体
	1団体		個人1名
学生制服・体育着	個人6名	食品	個人1名
タオル	企業1社	休校に伴う給食食材	給食センター

マッチング先及び回数

品名	回数	品名	回数
児童福祉施設(団体)	7回	高齢者施設やサロン等	4回
スクールソーシャルワーカー	6回	C S W	5回
福祉政策課	6回	児童家庭課	3回
病院	4回	中学校	1回
困窮世帯	1回		

◇市民講習会の実施

実施回数 9回

参加人数 160回

	期日	講演テーマ	講師	参加人数	備考
1	7月16日(金)	自分らしく生きるための	村田大宗	9	市役所職員・関係団体職員
2	7月29日(木)	豊かなお酒の飲み方と人生訓	高田俊彦	5	市民
3	9月25日(土)	上手に生きるための終活	東恩納寛寿	34	市民
4	9月25日(土)	上手に生きるための終活	東恩納寛寿	14	市民
5	10月6日(水)	自分らしく生きるための	村田大宗	4	株式会社うるばな宮古
6	10月14日(木)	上手に生きるための終活	東恩納寛寿	19	市民
7	10月30日(土)	マナー講座	JTAスカイエアポート	15	学習支援事業所(デイゴ教室・サンパ教室)
8	11月27日(土)	上手に生きるための終活	東恩納寛寿	40	ろうきん友の会
9	2月17日(木)	上手に生きるための終活	東恩納寛寿	20	高野地区通いの場

令和2年度件数	実績なし	令和3年度件数	9件	前年比	—
---------	------	---------	----	-----	---

(16) 生活福祉資金貸付事務【沖縄県社会福祉協議会】

◇月別相談件数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
相談件数	487	538	712	533	730	488	293	496	323	319	319	153	5,391

令和2年度件数	6,093件	令和3年度件数	5,391件	前年比	88.48%
---------	--------	---------	--------	-----	--------

◇地区別相談件数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
来所	134	179	269	226	261	180	114	182	101	117	109	45	1,917
電話	353	359	443	307	469	308	179	314	222	201	209	108	3,472
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	2
合計	487	538	712	533	730	488	293	496	323	319	319	153	5,391

◇貸付状況

	相談件数	申請件数	承認件数	不承認件数	貸付金額
福祉資金	56件	0件	1件	0件	2,500,000円
教育支援資金	24件	0件	0件	0件	円
緊急小口資金	38件	1件	1件	0件	100,000円
緊急小口資金特例	1,854件	696件	669件	14件	128,350,000円
総合支援資金	52件	1件	1件	0件	221,800円
総合支援資金特例	1,897件	619件	634件	14件	330,540,000円
総合支援資金特例延長	196件	98件	225件	3件	119,850,000円
総合支援資金特例(再貸付)	988件	494件	485件	9件	255,480,000円
不動産担保型生活福祉資金	1件	0件	0件	0件	円
償還	193件	0件	0件	0件	円
該当なし	92件	0件	0件	0件	円
合計	5,391件	1,909件	2,016件	40件	837,041,800円

令和2年度承認件数	1,936件	令和3年度承認件数	2,016件	前年比	104.13%
-----------	--------	-----------	--------	-----	---------

(17) 暮らしのサポート事業

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用件数	20	17	16	15	16	21	18	19	18	14	13	19	206

令和2年度総利用件数	184件	令和3年度総利用件数	206件	前年比	111.96%
------------	------	------------	------	-----	---------

(18) 宮古島市生活支援体制整備事業【宮古島市】

◇通いの場

通いの場名	実施回数	参加人数(延べ)	通いの場名	実施回数	参加人数(延)
1 大神偉人の会	4回	31名	14 高野	11回	129名
2 水浜会(池間)	15回	242名	15 かぎするう(下崎)	8回	95名
3 パートゥ笑笑校(島尻)	13回	174名	16 いんがなす会(新里)	0回	名
4 福々(福山)	23回	337名	17 ひまわり会(上地)	8回	84名
5 あさつゆの里会(添道)	9回	58名	18 和(なごみ)の会・与那覇	9回	189名
6 がんずう会(神屋)	10回	167名	19 加治道結いの会	7回	86名
7 碁幸会(東川根)	17回	199名	20 福西1	2回	33名
8 お笑い会(腰原)	8回	99名	21 福西	8回	114名
9 りんりん会(腰原)	17回	226名	22 スンダティ(上区)	15回	199名
10 まいぬんみ会(成川)	11回	132名	23 たかうす健康クラブ(比嘉)	14回	154名
11 活々ハッピー会(保里2区)	14回	125名	24 吉野	14回	116名
12 和(ハート)の会・東団地	9回	52名	25 ユクダキがんずう会(西東)	3回	30名
13 ふなこし	10回	126名	26 がじゅまるの会(長浜)	11回	99名

令和2年度件数	31件	令和3年度件数	26件	前年比	83.87%
---------	-----	---------	-----	-----	--------

◇いきいき百歳体操

地区名	実施回数	参加人数(延べ)	地区名	実施回数	参加人数(延)
1 福山	25回	397名	15 下崎	18回	203名
2 池間	30回	464名	16 砂川	23回	133名
3 島尻	25回	301名	17 比嘉	27回	316名
4 西原	21回	111名	18 西中	1回	6名
5 神屋	36回	521名	19 上区	26回	235名
6 腰原	20回	153名	20 吉野	26回	221名
7 東川根	25回	282名	21 西東	37回	329名
8 富名腰	19回	226名	22 新城	29回	296名
9 宮原	24回	244名	23 与那覇	20回	399名
10 久松	19回	165名	24 川満	20回	105名
11 東団地	19回	91名	25 宮国	9回	79名
12 保里2区	23回	167名	26 新里	3回	27名
13 東団地	19回	91名	27 野原	19回	74名
14 アバビル	21回	127名	28 仲地	20回	140名
15 七原	20回	162名	32 長浜	20回	175名
16 荷川取	28回	233名	33 佐良浜	15回	88名
17 高野	19回	244名			

令和2年度件数	32件	令和3年度件数	33件	前年比	103.13%
---------	-----	---------	-----	-----	---------

(19) 宮古島市指定管理者運営事業

センター名		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
宮古島市 社会福祉セ ンター	件数	47件	29件	31件	39件	41件	44件	58件	47件	48件	23件	35件	54件	496件
	人数	676名	351名	355名	460名	407名	514名	781名	604名	620名	247名	338名	607名	5,960名
宮古島市 平良老人福祉 センター	件数	22件	11件	5件	13件	25件	30件	38件	30件	31件	9件	16件	37件	267件
	人数	173名	61名	27名	90名	45名	75名	120名	120名	120名	84名	178名	292名	1,385名
宮古島市 伊良部老人福 祉センター	件数	5件	5件	0件	9件	10件	8件	15件	14件	14件	1件	2件	20件	103件
	人数	138名	102名	0名	79名	139名	44名	175名	140名	71名	32名	11名	166名	1,097名
宮古島市 上野老人福祉 センター	件数	20件	1件	0件	20件	12件	16件	32件	34件	37件	4件	12件	30件	218件
	人数	237名	3名	0名	156名	94名	134名	302名	348名	374名	49名	110名	209名	2,016名
合計	件数	94件	46件	36件	81件	88件	98件	143件	125件	130件	37件	65件	141件	1,084件
	人数	1,224名	517名	382名	785名	685名	767名	1,378名	1,212名	1,185名	412名	637名	1,274名	10,458名

令和2年度参加人数	9,228名	令和3年度参加人数	10,458名	前年比	113.33%
-----------	--------	-----------	---------	-----	---------

(20) 自主財源確保活動

◇社協会員会費加入促進の取り組み

会費説明会開催

会員会費実績額

戸別会費		賛助会費		団体会費		特別会費		合計	
件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
4	68,000	86	530,130	0	0	55	580,000	145件	1,178,130円

令和2年度実績額	1,311,715円	令和3年度実績額	1,178,130円	前年比	89.82%
----------	------------	----------	------------	-----	--------

(21) 赤い羽根共同募金の取り組み強化

赤い羽根共同募金実績

◎実績額 4,425,221円 ◎目標額 4,954,000円 ◎達成率 89.3%

募金種別	戸別	職域	街頭	学童	法人	個人	イベント	その他
金額(円)	2,242,872	576,555	163,238	722,825	697,000	13,000	0	9,731

令和2年度実績額	4,236,417円	令和3年度実績額	4,425,221円	前年比	104.46%
----------	------------	----------	------------	-----	---------

(22) 歳末助け合い運動実績額

◎実績額 502,697円 ◎目標額 1,000,000円 ◎達成率 50.3%

募金種別	職域	イベント
金額(円)	502,697	0

令和2年度実績額	574,833円	令和3年度実績額	502,697円	前年比	87.45%
----------	----------	----------	----------	-----	--------

(23) 訪問介護事業

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用件数	824	819	863	754	799	731	735	745	713	666	694	776	9,119

令和2年度総利用件数	7,860件	令和3年度総利用件数	9,119件	前年比	116.02%
------------	--------	------------	--------	-----	---------

(24) 通所介護事業

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
城辺	348	296	275	252	243	302	300	314	295	188	232	285	3,330
伊良部	145	145	151	137	171	191	172	177	138				1,427
計	493	441	426	389	414	493	472	491	433	188	232	285	4,757

令和2年度総利用件数	5,067件	令和3年度総利用件数	4,757件	前年比	93.88%
------------	--------	------------	--------	-----	--------

(25) 小規模多機能型居宅介護事業

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
きゃーぎ	904	863	790	760	885	807	794	858	933	797	820	929	10,140
たかやま	480	465	456	412	442	441	453	447	554	479	441	441	5,511
計	1,384	1,328	1,246	1,172	1,327	1,248	1,247	1,305	1,487	1,276	1,261	1,370	15,651

令和2年度総利用件数	15,813件	令和3年度総利用件数	15,651件	前年比	98.98%
------------	---------	------------	---------	-----	--------

(26) 障害者総合支援事業

障害者総合支援（訪問介護）

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用件数	528	572	551	558	535	542	581	528	581	508	508	508	6,500

令和2年度総利用件数	7,173件	令和3年度総利用件数	6,500件	前年比	90.62%
------------	--------	------------	--------	-----	--------

障害者総合支援（同行援護）

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用件数	66	67	65	57	62	58	73	69	88	57	59	83	804

令和2年度総利用件数	814件	令和3年度総利用件数	804件	前年比	98.77%
------------	------	------------	------	-----	--------

障害者総合支援（重度訪問介護）

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用件数	34	32	33	35	22	36	40	35	39	23	25	36	390

令和2年度総利用件数	413件	令和3年度総利用件数	390件	前年比	94.43%
------------	------	------------	------	-----	--------

(27) 一般旅客自動車運送事業

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用件数	189	224	242	208	201	220	252	229	271	197	201	228	2,662

令和2年度総利用件数	2,260件	令和3年度総利用件数	2,662件	前年比	117.79%
------------	--------	------------	--------	-----	---------

(28) 移動支援事業【宮古島市】

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用件数	108	122	125	111	102	106	115	113	119	117	108	117	1,363
令和2年度総利用件数	1,519件			令和3年度総利用件数			1,363件			前年比	89.73%		

(29) 介護タクシー

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用件数	3	0	3	2	0	0	1	0	0	0	1	0	10
令和2年度総利用件数	30件			令和3年度総利用件数			10件			前年比	33.33%		

(30) 高齢者見守り事業【宮古島市】

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
訪問介護	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	6	6	82
きゃーぎ	8	7	7	6	6	6	5	5	4	4	4	4	66
計	15	14	14	13	13	13	12	12	11	11	10	10	148
令和2年度総利用件数	192件			令和3年度総利用件数			148件			前年比	77.08%		

(31) 器具备品貸出状況

品名	回数	品名	回数
車椅子	14	杖	1
歩行器	1	餅つきセット	1
ポータブルトイレ	8		
車両	0		
シャワーチェア	4		
ストレッチャー	0		

令和2年度総利用件数	53件	令和3年度総利用件数	29件	前年比	54.72%
------------	-----	------------	-----	-----	--------

(32) 困難を抱えた市民への支援

◇宮古島市法外援護給付事業(地域福祉活動事業) 7件

○ひとり親世帯 3件 ○高齢者世帯 1件 ○生活困窮世帯 1件
 ○一人暮らし/病気 3件

令和2年度総利用件数	14件	令和3年度総利用件数	7件	前年比	50.00%
------------	-----	------------	----	-----	--------

(33) 評議員会の開催

第1回 評議員会

日 時 : 令和3年6月18日10:00~11:12
会 場 : 宮古島市社会福祉センター ホール
議 題 : 議案第1号 令和2年度事業報告承認について
議案第2号 令和2年度決算報告について
議案第3号 令和3年度資金収支一次補正予算(案)について
議案第4号 任期満了に伴う役員改選(案)について

第2回評議員会

日 時 : 令和3年10月18日10:08~11:12
会 場 : 宮古島市社会福祉センター ホール
議 題 : 議案第1号 令和3年度資金収支二次補正予算(案)について

第3回評議員会

日 時 : 令和4年3月24日10:00~
会 場 : 宮古島市社会福祉センター ホール
議 題 : 議案第1号 令和4年度事業計画(案)について
議案第2号 令和4年度資金収支予算(案)について

(34) 理事会の開催

第1回 理事会

日 時 : 令和3年6月4日10:00~11:46
会 場 : 宮古島市社会福祉センター ホール
議 題 : 議案第1号 令和2年度事業報告承認について
議案第2号 令和2年度決算承認について
議案第3号 令和3年度資金収支一次補正予算(案)について
議案第4号 宮古島市社会福祉協議会評議員候補者の推薦
及び評議員選任・解任委員会の招集について
議案第5号 令和3年度定時評議員招集及び議案について
会長職務執行状況報告

第2回 理事会

日 時 : 令和3年6月21日10:03~11:14
会 場 : 宮古島市社会福祉センター ホール
議 題 : 議案第1号 会長、副会長選定について
議案第2号 宮古島市社協指定通所介護事業所いらぶ閉鎖について

第3回 理事会

日 時 : 令和3年10月8日 10:10~11:33
会 場 : 宮古島市社会福祉センター ホール
議 題 : 議案第1号 事務局規程改正(案)について
議案第2号 非常勤職員就業規則改正(案)について
議案第3号 介護職員給与規程改正(案)について
議案第4号 令和3年度資金収支二次補正予算(案)について
議案第5号 令和3年度第2回評議員招集について
会長職務執行状況報告

第4回 理事会

日時：令和4年3月17日10:00~12:43

会場：宮古島市社会福祉センター ホール

議題：議案第1号 事務局規程改正（案）について

議案第2号 経理規程改正（案）について

議案第3号 業務体制管理規程改正（案）について

議案第4号 就業規則改正（案）について

議案第5号 非常勤職員就業規則改正（案）について

議案第6号 介護職員就業規則改正（案）について

議案第7号 介護職員給与規程改正（案）について

議案第8号 再雇用規程改正（案）について

議案第9号 高齢者雇用規程改正（案）について

議案第10号 助成金交付規程（案）について

議案第11号 ボランティア団体等助成金交付規程廃止（案）について

議案第12号 職場におけるハラスメント防止規定（案）について

議案第13号 育児・介護休業規則（案）について

議案第14号 任期満了による第三者委員選任（案）について

議案第15号 令和4年度事業計画（案）について

議案第16号 令和4年度資金収支予算（案）について

議案第17号 令和3年度第3回評議員会招集について

会長職務執行状況報告

(34) 役員会議、課長会議の開催

◇役員会議 23回

◇課長会議 34回

◇決算監査の実施

日時：令和3年5月18日

場所：宮古島市社会福祉センター

◇社会福祉法人指導監査の実施

日時：令和3年11月10日

場所：宮古島市社会福祉センター

令和3年度研修・訓練実績

1. 全体研修

全体	開催月	実績	参加
内部研修	令和3年6月	宮古島市社会福祉協議会初任職員研修	入職1年未満職員9名
	令和3年12月	宮古島市社会福祉センター消防訓練	職員11名 利用者25名
	令和4年3月	宮古島市社会福祉協議会現任職員研修	職員27名
	令和4年3月	ハラスメント相談窓口担当者研修	職員10名

2. 企画総務課

企画総務課	開催月	実績	参加
内部研修	令和3年11月	年金等説明会	職員6名
外部研修	令和3年9月	一般事業主行動計画説明会（那覇市）	職員1名

3. 地域福祉課

地域福祉課	開催月	実績	参加
内部研修	令和3年5月	生活支援係職員研修（危険予測運転の基本）	地域福祉課全職員
外部研修	令和3年5月24日	沖縄県宮古圏域障害者自立支援会議	CSW1名
外部研修	令和3年5月	コロナ禍のコミュニティソーシャルワークの実践と包括的支援の在り方を探る	職員6名
外部研修	令和3年6月～令和4年3月	法人後見基礎研修Ⅱ	後見支援専門員1名
外部研修	令和3年6月～令和4年3月	法人後見基礎研修Ⅲ	後見支援専門員1名
外部研修	令和3年7月16日	コミュニケーション講習	CSW4名
外部研修	令和3年7月27日	令和3年度市町村における包括的な支援体制づくり推進会議	CSW1名
外部研修	令和3年8月	日常生活自立新事業 専門員オンライン連絡会	日常生活自立支援専門員3名
外部研修	令和3年8月	認知症疾患医療連携協議会	職員6名
外部研修	令和3年8月	生活支援コーディネーター初任者研修	職員2名
外部研修	令和3年8月12日、8月13日	アクティブコミュニケーション講習	CSW3名
外部研修	令和3年9月	災害時受援体制研修	地域福祉課長 事業課長
外部研修	令和3年9月	生活支援コーディネーター養成研修応用講座1-1 認知症の人とともに地域で暮らす	職員2名
外部研修	令和3年9月	地域包括ケアシステム総論セミナー	職員3名
外部研修	令和3年9月24日	アクティブコミュニケーション講習	CSW4名
外部研修	令和3年10月	日常生活自立支援事業 専門員オンライン研修 ※事例提供者として参加	日常生活自立支援専門員3名
外部研修	令和3年11月	生活支援コーディネーター養成研修応用1-2 権利擁護の展開と生活支援コーディネーターの役割	職員2名

地域福祉課	開催月	実績	参加
外部研修	令和3年11月	令和3年度甲種防火管理新規講習会	地域福祉課長
外部研修	令和3年11月10日	法テラスの利用方法	職員6名
外部研修	令和3年11月15日 令和3年11月16日	令和3年度 生活福祉資金貸付事業担当職員 研修会相談対応力向上研修（オンライン）	地域福祉課長 地域福祉係 4名
外部研修	令和3年11月25日	地域福祉コーディネーター基礎研修	CSW 4名 地域福祉 CO 地域福祉係
外部研修	令和3年12月3日	地域福祉コーディネーター基礎研修	職員6名
外部研修	令和3年12月21日	令和3年度 生活福祉資金特例貸付における 債権管理に関する説明会（オンライン）	地域福祉課長 地域福祉係
外部研修	令和4年1月	生活支援コーディネーター応用講座 3-2地域づくりの極意と実践	職員2名
外部研修	令和4年1月	第1回 CSW研究会	地域福祉課長
外部研修	令和4年2月	第2回 CSW研究会	地域福祉課長
外部研修	令和4年2月	生活支援コーディネーター養成研修応用 講座2 お宝を生かした地域づくり	職員2名
外部研修	令和4年2月24日	生活困窮者自立支援研究協議会	CSW・地域福祉CO 5名
外部研修	令和4年2月24日	生活困窮者自立支援研究協議会～生活困窮者 支援と子どもの貧困	職員6名
外部研修	令和4年3月	法人後見推進勉強会 ※実践報告者として参加	後見支援専門員3名
外部研修	令和4年3月	サンクス運動推進セミナー	地域福祉課長 地域福祉係 2名
外部研修	令和4年3月19日	令和3年度沖縄原宿会公開研究会「研究者、実践者 としてこだわり続けてきた支援観・人間観」	職員6名

包括ひらら	開催月	実績	参加
内部研修	令和3年4月	コロナフレイル情報	職員9名
	令和3年4月	新型コロナウイルス感染予防について	職員9名
	令和3年8月	地域支援事業（じょーとーシート）	職員7名
	令和3年8月	認知症初期合同勉強会	職員4名
外部研修	令和3年4月	認知症について	職員3名
外部研修	令和3年6月	介護支援専門員課程 I	職員1名
外部研修	令和3年7月	高齢者と認知症の睡眠障害	職員4名
外部研修	令和3年7月	地域ケア会議に活かすフレイルと栄養管理	職員5名
外部研修	令和3年7月	市・地域包括等職員初任者向け研修会	職員1名
外部研修	令和3年7月	介護支援専門員課程 II	職員1名
外部研修	令和3年8月	若年性認知症の特徴と早期発見	職員1名
外部研修	令和3年8月	自立支援の為の介護予防ケアマネジメント	職員2名
外部研修	令和3年8月	地域包括・在宅介護支援センター（初任者研修）	職員2名

包括ひらら	開催月	実績	参加
外部研修	令和3年9月	業務継続計画（BCP）や介護報酬改訂ポイント	職員4名
外部研修	令和3年9月	コロナ禍での高齢者ケア	職員6名
外部研修	令和3年9月	医療・介護従事者のメンタルヘルスケア	職員4名
外部研修	令和3年9月	地域包括ケア市町村支援事業包括ケアシステム総論	職員5名
外部研修	令和3年9月	認知症の理解と予防	職員9名
外部研修	令和3年9月	消費者被害シンポジウム	職員1名
外部研修	令和3年9月	介護支援専門員課程Ⅱ	職員1名
外部研修	令和3年9月	介護報酬改定在宅訪問栄養食事指導の今後の展開	職員1名
外部研修	令和3年9月	10年後の在宅医療のために	職員1名
外部研修	令和3年9月	多職種連携における管理栄養士関与（菓から食へ）	職員1名
外部研修	令和3年9月	ときどき入院、ほぼ在宅をめざして	職員1名
外部研修	令和3年9月	お家に帰って、さあ食べよう！	職員1名
外部研修	令和3年10月	ケアマネの立場から在宅訪問管理栄養士に臨む事	職員1名
外部研修	令和3年10月	健康支援型配食サービスセミナー	職員2名
外部研修	令和3年10月	要支援のアセスメント見直しのタイミング	職員3名
外部研修	令和3年10月	栄養ケア・マネジメントスキルケア研修会	職員1名
外部研修	令和3年10月	全国地域包括研究大会	職員3名
外部研修	令和3年10月	日常生活自立支援事業権利擁護と成年後見制度	職員2名
外部研修	令和3年10月	ケアマネ自身も満たされる相談援助技術（傾聴）	職員3名
外部研修	令和3年10月	多職種コンソーシアム実践研修	職員2名
外部研修	令和3年11月	毎日がアルツハイマー	職員3名
外部研修	令和3年11月	介護報酬改訂	職員6名
外部研修	令和3年11月	地域密着支援	職員1名
外部研修	令和3年11月	ヤングケアラー研修	職員2名
外部研修	令和3年12月	市町村・地域包括現任研修	職員3名
外部研修	令和3年12月	若年性認知症支援推進事業	職員4名
外部研修	令和3年12月	BCP総論	職員1名
外部研修	令和3年12月	包括支援センター協議会	職員3名
外部研修	令和3年12月	地域包括ケア（オレンジガーデニング）	職員2名

包括ひらら	開催月	実績	参加
外部研修	令和4年1月	刑事施設出所者に係る福祉に関する協議会	職員1名
外部研修	令和4年2月	入退院デザイン研修	職員2名
外部研修	令和4年2月	介護認定審査員現任研修	職員3名
外部研修	令和4年2月	認知症すいしんセッション1	職員2名
外部研修	令和4年2月	認知症すいしんセッション2	職員2名
外部研修	令和4年2月	障害年金の基礎知識	職員3名
外部研修	令和4年3月	生活支援コーディネーター実践セミナー	職員7名
外部研修	令和4年3月	予防アセスメント研修	職員6名
外部研修	令和4年3月	予防ケアマネジメント研修	職員6名
外部研修	令和4年3月	認知症すいしん員セッション	職員2名
外部研修	令和4年3月	令和3年高齢者虐待対応現任研修	職員1名
外部研修	令和4年3月	成年後見における意思決定支援	職員1名
外部研修	令和4年3月	認知症カフェセミナー	職員2名
外部研修	令和4年3月	栄養～疾患別の栄養療法～	職員1名

包括みやこ	開催月	実績	参加
内部研修	令和3年4月	コロナフレイル情報	職員8名
	令和3年4月	新型コロナウイルス感染予防について	職員8名
	令和3年8月	地域支援事業（じょーとーシート）	職員8名
外部研修	令和3年6月	主任ケアマネ更新研修	職員1名
外部研修	令和3年6月	基準改正・報酬改正についての研修	職員1名
外部研修	令和3年6月	介護支援専門員課程 I	職員1名
外部研修	令和3年7月	高齢者と認知症と睡眠障害	職員6名
外部研修	令和3年7月	フレイル予防	職員6名
外部研修	令和3年7月	主任ケアマネ更新研修	職員1名
外部研修	令和3年7月	介護支援専門員課程 I	職員1名
外部研修	令和3年8月	自立支援の為の予防ケアマネジメント	職員3名
外部研修	令和3年8月	市・地域包括等職員初任者向け研修会	職員1名
外部研修	令和3年8月	件在宅介護支援センター初任者向け研修会	職員1名
外部研修	令和3年8月	認知症支援チームについて	職員4名

包括みやこ	開催月	実績	参加
外部研修	令和3年8月	若年性認知症の特徴と早期発見	職員1名
外部研修	令和3年9月	業務継続計画（BCP）や介護報酬改訂のポイント	職員4名
外部研修	令和3年9月	コロナ禍での高齢者ケア	職員3名
外部研修	令和3年9月	医療・介護従事者のメンタルヘルスケア	職員3名
外部研修	令和3年9月	地域包括ケア市町村支援事業包括ケアシステム総論	職員1名
外部研修	令和3年9月	第8回日本在宅栄養管理術集会Web配信	職員2名
外部研修	令和3年9月	認知症の理解と予防	職員7名
外部研修	令和3年10月	ケアマネ自身も満たされる相談援助技術（傾聴）	職員3名
外部研修	令和3年10月	ケアマネの立場から在宅訪問管理栄養士に臨む事	職員5名
外部研修	令和3年10月	日常生活自立支援事業権利擁護と成年後見制度	職員1名
外部研修	令和3年10月	要支援のアセスメント見直しのタイミング	職員1名
外部研修	令和3年10月	全国地域包括研究大会	職員2名
外部研修	令和3年10月	健康支援型配食サービスセミナー	職員1名
外部研修	令和3年11月	地域密着支援	職員1名
外部研修	令和3年11月	九州ブロック・地域包括在宅センタ協議会	職員2名
外部研修	令和3年11月	介護報酬改訂	職員5名
外部研修	令和3年11月	ヤングケアラー研修	職員4名
外部研修	令和3年11月	全国地域包括・在宅介護センター研究大会	職員3名
外部研修	令和3年12月	地域包括支援センター現任研修	職員2名
外部研修	令和3年12月	若年性認知症の特徴と早期発見	職員2名
外部研修	令和3年12月	BCP総論	職員1名
外部研修	令和3年12月	沖縄県地区別連絡会	職員2名
外部研修	令和3年12月	第2回県住生活基本計画変更計画策定検討委員会	職員1名
外部研修	令和3年12月	認知症とオレンジガーデニングプロジェクト	職員1名
外部研修	令和3年12月	教育世帯子育て相談支援体制強化事業関係者会議	職員1名
外部研修	令和4年1月	アサーティブコミュニケーション	職員2名
外部研修	令和4年1月	刑事施設出所者に係る福祉に関する協議	職員1名
外部研修	令和4年1月	コンソーシアム実践研修	職員1名

包括みやこ	開催月	実績	参加
外部研修	令和4年2月	認知症地域支援推進員セッション	職員2名
外部研修	令和4年2月	認知症カフェ研修	職員1名
外部研修	令和4年2月	在宅における高齢者の栄養管理	職員8名
外部研修	令和4年2月	介護認定審査員現任研修	職員1名
外部研修	令和4年2月	沖縄県多職種連携ケアマネジメント	職員1名
外部研修	令和4年3月	予防アセスメント研修	職員5名
外部研修	令和4年3月	予防ケアマネジメント研修	職員5名
外部研修	令和4年3月	生活支援コーディネーター実践セミナー	職員4名
外部研修	令和4年3月	令和3年高齢者虐待対応現任研修	職員1名
外部研修	令和4年3月	成年後見における意思決定支援	職員1名
外部研修	令和4年3月	いきいき健脳をつくる	職員1名
外部研修	令和4年3月	認知症のひとの夢を叶えるヘルプカード	職員1名
外部研修	令和4年3月	介護フェスタ認知症	職員1名

4. 事業課

事業課	開催月	研修名等	参加
内部研修	令和3年6月	DVD研修（危険運転予測の基本、防衛運転7つのポイント）	全事業課職員へ資料配布
内部研修	令和3年7月	書面研修（倫理に関する研修）	全事業課職員へ資料配布
内部研修	令和3年8月	書面研修（社会福祉協議会について）	全事業課職員へ資料配布
内部研修	令和3年8月	書面研修（事故発生等緊急時対応研修）	全事業課職員へ資料配布
内部研修	令和3年9月	書面研修（職場のマナー・接遇の基本）	全事業課職員へ資料配布
内部研修	令和3年9月	書面研修（災害時対応の基本）	全事業課職員へ資料配布
内部研修	令和3年11月	書面研修（利用者のプライバシーの取り組みに関する研修）	全事業課職員へ資料配布
内部研修	令和3年6月	介護予防普及啓発事業研修	介護予防普及啓発事業職員
内部研修	令和3年5月	介護予防普及啓発事業平良地区新任職員研修	介護予防普及啓発事業職員

居宅介護支援事業所

居宅介護支援	開催月	研修名等	参加
外部研修	令和3年4月	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策の強化について	長嶺 千一郎
外部研修	令和3年5月	主任介護支援専門員更新研修	濱川 おのみ
外部研修	令和3年6月	基準改正・報酬改定後の疑問解消(ケアマネジメント関連)	内間 みゆき

居宅介護支援	開催月	研修名等	参加
外部研修	令和3年6月	主任介護支援専門員更新研修	濱川 おのみ
外部研修	令和3年7月	主任介護支援専門員更新研修	濱川 おのみ
内部研修	令和3年7月	倫理に関する研修	内間、長嶺、友利、濱川
内部研修	令和3年9月	危険運転予測の基本	内間、長嶺、友利、濱川
内部研修	令和3年9月	社会福祉協議会について	内間、長嶺、友利、濱川
内部研修	令和3年9月	事故・緊急時に備える	内間、長嶺、友利、濱川
外部研修	令和3年10月	日常生活自立支援事業と成年後見制度について	長嶺 千一郎
内部研修	令和3年10月	職場のマナー接遇の基本	内間、長嶺、友利、濱川
内部研修	令和3年10月	災害時対応の基本	内間、長嶺、友利、濱川
内部研修	令和3年11月	利用者のプライバシーの取り組みに関する研修	内間、長嶺、友利、濱川
外部研修	令和4年2月	あるある事例から学ぶ！ケアマネの為の高齢者生活トラブルセミナー	内間 みゆき
担当者会議、135回 ケース検討会等参加回数 10回		145回	ミーティング開催数 50回

小規模多機能型居宅介護事業所きやーぎ

内部・外部	開催月	研修名等	参加
外部研修	令和3年4月	第5回介護連携リモート研修「新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策の強化」についてクラスターから今後の対策を考える	全職員
外部研修	令和3年5月	第13回新型コロナウイルス感染症対策ミーティング 高齢者施設を対象とした感染対策方法や直近の流行状況についてなど	全職員
外部研修	令和3年5月	感染対策「防護服の着脱」「室内環境、ゾーン分け」	全職員
内部研修	令和3年6月	「利用者のプライバシー保護の取り組みについて」	全職員
内部研修	令和3年6月	「利用者送迎時等の交通事故防止」	全職員
外部研修	令和3年6月	「介護連携コロナ禍におけるメンタルヘルスについて」	奥松千恵美
外部研修	令和3年6月	「令和3年度介護報酬から見る、これからの介護支援専門員に求められること」	奥松千恵美
外部研修	令和3年7月	「明日から使えるやさしいZOOM講座」	仲松理紗、赤嶺鉄
内部研修	令和3年7月	書面研修（倫理に関する研修）	全職員
外部研修	令和3年7月	「令和3年度高齢者施設における新型コロナウイルス感染症対策」	全職員
外部研修	令和3年8月	「若年性認知症の特徴と早期発見・治療の重要性について」	多良間勝子、奥松千恵美
内部研修	令和3年8月	書面研修（社会福祉協議会について）	全職員
内部研修	令和3年8月	書面研修（事故発生等緊急時対応研修）	全職員
外部研修	令和3年9月	「介護施設・事業所における自然災害時の業務継続計画（BCP）の基礎スキルアップ研修」	奥松千恵美
内部研修	令和3年9月	書面研修（職場のマナー・接遇の基本）	全職員

小規模多機能型居宅介護事業所きやーぎ

内部・外部	開催月	研修名等	参加
内部研修	令和3年9月	書面研修（災害時対応の基本）	全職員
外部研修	令和3年10月	「日常生活自立支援事業と成年後見制度について」	奥松千恵美
内部研修	令和3年10月	書面研修（利用者のプライバシーの取り組みに関する研修）	全職員
外部研修	令和3年11月	「認知症医療とコロナ禍での本人、家族の思い」	奥松千恵美
外部研修	令和3年11月	「毎日が認知症」	奥松千恵美
内部研修	令和3年11月	「利用者のプライバシーの取り組みに関する研修」	全職員
外部研修	令和3年11月	「令和3年度沖縄県介護支援専門員スキルアップ研修 令和3年度介護報酬改定Q&A（居宅介護支援）と介護保険最新情報Vol.958について～令和3年度報酬改定・様式変更による押印廃止、記載要領の変更について正しい知識を身につけよう～」	奥松千恵美
外部研修	令和3年12月	「BCPに関する研修」	全職員
外部研修	令和3年12月	「若年性認知症講話」	奥松千恵美
外部研修	令和4年1月	第5回在宅医療・介護スクラム塾『摂食嚥下・口腔ケア』 講義：「在宅での口腔ケア多職種で行う食支援」 講師：高良歯科医院 歯科医師 高良孔明氏	全職員
外部研修	令和4年1月	「介護連携リモート研修（オミクロン？沖縄県第6波 宮古島sの感染拡大と今後）」	全職員
外部研修	令和4年2月	第18回沖縄県介護支援専門員研究大会「ケアマネジャーの原点と新たな進化～未来志向につながる意思決定～」	奥松千恵美
外部研修	令和4年2月	RDD2022inOKINAWA	奥松千恵美
外部研修	令和4年2月	2021年沖縄県入退院支援連携デザイン事業 多職種研修 「コロナ禍でつながる病院、診療所との入退院のあり方」 ～コロナ禍における診療所で働くソーシャルワーカーの取り組みの視点から～	奥松千恵美
外部研修	令和4年3月	高齢者施設での施設内感染対策のためのワンポイントアドバイス（関連ミーティング第24回、第25回）	全職員
外部研修	令和4年3月	「基礎から学ぶ感染症～高齢者施設における感染症予防～」	全職員
外部研修	令和4年3月	ハラスメントに関する研修「明るい職場応援団」（厚労省サイトより）	全職員
外部研修	令和4年3月	令和3年度沖縄県在宅医療・介護連携に関する市町村支援事業 第1回感染症予防研修会	奥松千恵美
担当者会議、ケース検討会等参加回数			ミーティング開催数 381回

小規模多機能型居宅介護事業所たかやま

内部・外部	開催月	研修名等	参加
外部研修	5月～7月	令和3年度介護支援専門員 専門課程 I	川田
内部研修	令和3年7月	危険運転予測について	職員全員
内部研修	令和3年7月	倫理に関する研修	職員全員
外部研修	令和3年7月	令和3年度沖縄県認知症疾患医療センター講演会	普天間

小規模多機能型居宅介護事業所たかやま

内部・外部	開催月	研修名等	参加
内部研修	令和3年8月	異常事態事故発生時対応マニュアル	職員全員
内部研修	令和3年8月	社会福祉協議会とについて	職員全員
内部研修	令和3年8月	高齢者福祉施設等における救急手引き	職員全員
内部研修	令和3年9月	職場のマナー・接遇の基本	職員全員
内部研修	令和3年9月	災害時対応の基本	職員全員
内部研修	令和3年11月	利用者のプライバシーの取り組みに関する研修	職員全員
外部研修	令和3年11月	高齢者認知症の自動車運転オンライン研修	川田
外部研修	令和4年2月	障害年金の基礎知識について	川田
外部研修	令和4年3月	ハラスメントオンライン研修	職員全員
外部研修	令和4年3月	実務者研修教員講習会	普天間
担当者会議、 回数	ケース検討会等参加	29回	ミーティング開催数 22回